



## 2021年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の開催やそれに伴う予算執行で未達の部分があった。困難な状況の中、各事業で可能な最善の形を模索した結果、対予算 90.5%を遂行した。

また、研究助成事業で、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な研究を支援することを目的としたハイリスク新興感染症研究助成を新たに開始した。

### 1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- (1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件3,000万円10件計3億円を贈呈した。
- (2) ハイリスク新興感染症研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究に対して、1件1,000万円10件計1億円を贈呈した。
- (3) 生命科学研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件1,000万円30件計3億円を贈呈した。
- (4) 医学系研究助成は、医学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円240件計4億8,000万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）72件、精神・神経・脳領域53件、感染領域19件、基礎68件、臨床28件]  
継続助成は、本研究助成の2018年度および2019年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円30件計9,000万円を贈呈した。[がん領域（基礎・臨床）9件、精神・神経・脳領域4件、感染領域2件、基礎11件、臨床4件]
- (5) 薬学系研究助成は、薬学系の満45歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円40件計8,000万

円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2018 年度および 2019 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 5 件 計 1,500 万円を贈呈した。

- (6) ライフサイエンス研究助成は、医学・歯学・薬学系を除く大学・学部や研究機関、高等専門学校に所属する満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 42 件 計 8,400 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2018 年度および 2019 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 4 件 計 1,200 万円を贈呈した。

- (7) 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究（学内または複数機関の融合研究）に対して、1 件 3,250 万円～5,000 万円 14 件 計 6 億円を贈呈した。

- (8) ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1 件 200 万円 33 件 計 6,600 万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2018 年度および 2019 年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1 件 500 万円 10 件 計 5,000 万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2018 年度および 2019 年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 1,000 万円 5 件 計 5,000 万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2018 年度および 2019 年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 3,000 万円 1 件 計 3,000 万円を贈呈した。

- (9) 中学校・高等学校理科教育振興助成は、国内の中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1 件 30 万円 70 件 計 2,100 万円を贈呈した。（中学校 20 件、高等学校 50 件）

- (10) 杏雨書屋研究助成は、日本在住の研究者を対象に公募を行い、1 件 50 万円～100 万円 5 件 計 340 万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は 22 億 8,140 万円（対前年度実績比 8,740 万円増）となった。

なお、2021 年 11 月 12 日（金）に予定していた 2021 年度研究助成金贈呈式は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止した。

## 2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

### (1) 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で留学生の大半が来日できなかった。その中で、7指定国より4名、その他の国より5名、計9名に奨学助成を開始した。2020年度までに開始済みの留学生の継続分を含めて留学助成金として総額2,039万円を支給した。

なお、1964年に本事業を開始して以来、2022年3月末までに助成した外国人留学研究者の総数は46カ国から1,752名となった。

本年度に開始した留学研究者数は、次の通りである。

〈2022年3月31日現在〉						
国 別	2021年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	3				0	3名承認、3名次年度繰越
タ イ	6				0	6名承認、6名次年度繰越
フィリピン	6				0	6名承認、6名次年度繰越
韓 国	3		1		1	4名承認、4名次年度繰越
中 国	8				0	8名承認、8名次年度繰越
インドネシア	6	3			3	5名承認、2名次年度繰越
ベトナム	3				0	3名承認、3名次年度繰越
7カ国 小計	35	3	1	0	4	
上記7カ国以外	10	4	1		5	10名承認、6名次年度繰越
総 計	45	7	2	0	9	

### (2) 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業生で国内の指定7大学（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者（各大学2名、計14名）に対し、奨学金（年間360万円、最大4年間）の支給を行う事業を実施しているが、2021年度は東北大学で応募者が1名しかいなかったため、その枠を過去5年間の応募者が多かった東京大学に割り当てた。

2018年度から2020年度の奨学助成者36名と合わせて計50名に、総額1億8,000万円を奨学助成した。

なお、2021年5月27日（木）に予定していた2021年度医学部博士課程奨学助

成認定式は、新型コロナウイルス感染症の影響のためオンラインで開催した。

医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で65名となり、そのうち44名が取得後も基礎研究機関に所属した。

(3) 海外研究留学生に対する助成（海外研究留学助成）

2019年度より若手医師でかつ博士号保持者または博士課程在籍者を対象とした海外研究留学助成事業を行っている。本年度は、2019年度留学生9名、2020年度留学生8名、2021年度留学生10名、計27名に渡航費込みで総額1億3,320万円を助成した。

また、2022年度の海外研究留学生について公募を行い、選考の結果、10名を決定した。2022年2月3日（木）に予定していた2022年度海外研究留学助成認定式は、新型コロナウイルス感染症の影響のためオンラインで開催した。

海外研究留学助成の累計採択者は40名となった。

3. 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された13名の候補者について、9名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、2名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2021年11月12日（金）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および副賞（1件2,000万円）をそれぞれ贈呈した。

藤木 幸夫 博士

受賞時職名：九州大学 名誉教授

研究題目：ペルオキシソームの形成と欠損症研究によるオルガネラ病概念の確立

松島 綱治 博士

受賞時職名：東京理科大学 教授

研究題目：ケモカインの発見による白血球浸潤機序の解明と創薬への貢献

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は下記 第11回 武田科学振興財団 薬科学シンポジウムを2022年1月21日（金）～22日（土）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため2年後（2023年度）に延期した。

テ マ ： “Imaging-directed development of cutting edge drugs and  
medical technologies”

「イメージングによる最先端医薬品・医療技術開発」

組織委員長： 浦野 泰照 （東京大学 教授）

組織委員： 青木 伊知男（量子科学技術研究開発機構 グループリーダー）

深瀬 浩一 （大阪大学 教授）

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書等発刊）

杏雨書屋機関誌『杏雨』24号を2021年6月に、『杏雨』増刊号2021を2021年7月に発刊した。

また、2022年3月に『日本近世医学史論考』I、II および『杏雨書屋所蔵 医聖像集』を発刊した。

6. 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書等公開）

(1) 保管・管理

写真撮影 52,838 枚、複写製本 445 冊、補修 13 点を行った。

(2) 公開

閲覧者は 38 名（閲覧図書 361 部、1,062 冊）、複写依頼は 35 名（複写部数 143 部、6,653 枚）、展示室見学者は 1,172 名（特別展示会を含む）であった。

<常設展示会>

「医学・薬学にまつわる素材と道具類」をテーマに開催した。（見学者 1,172 名）

<特別展示会>

(i) 春季：新型コロナウイルス感染症の影響のため秋季に延期した。

(ii) 秋季：10月11日（月）～22日（金）（17日（日）を除く）に「医聖たちの姿」をテーマに開催した。（見学者：189名）

(3) 研究講演会

第44回研究講演会を以下の通り行った。

日時：2021年10月16日（土）13：00～15：20

場所：武田科学振興財団 5階

演題：「出土文物に見る神農と扁鵲」

演者：猪飼 祥夫氏 （猪飼鍼灸院長）

演題：「神仙の世界」

演者：麥谷 邦夫氏 （京都大学 名誉教授）

(4) 稀覯本購入

貴目帖 1点

仁齋直指 7点

寒窓哈嚙 2点  
瓊桃集 1点  
黄帝内経太素 1点  
延寿類要 1点  
瀋本医説抄録 1点  
神農図 延寿院橘玄淵画讃 1点  
福井棣園(晋) 遠雁余声五言律詩 1点  
ヨンストン「動物図説」蘭語版・初版 1660年 アムステルダム刊 1点  
長野文庫 28点  
読書漫録 3点  
多紀元堅 掛軸 1点  
漫遊雑記 卷上 1点  
医嚙 第二卷欠 4点  
〔松原一閑斎先生方函〕成章堂家蔵方 1点  
〔栗園漫録〕栗園日抄 1点  
栗園録稿并掌記 二 1点  
読書漫録 巳 1点  
ロッテルダム薬局方第3版 1736年 アムステルダム刊 1点  
浅田恭悦書簡 1点  
森立之書簡 1点  
プラッハ「ベルギー薬局方の調剤帳」初版 1829年 ロッテルダム刊 1点

以上

事業報告附属明細書

別表(1) 2021年度研究助成事業概要

別表(2) 2021年度来日外国人留学研究者(国別人数)

別表(3) 2021年度外国人留学研究者明細

別表(4) 国別外国人留学研究者数累計

別表(5) 2021年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2021年度海外研究留学者明細



# 2021年度 研究助成 概要

## 武田報彰医学研究助成

大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究へ助成  
(1件3,000万円 10件)

## ハイリスク新興感染症研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究への助成  
(1件1,000万円 10件)

## 生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究へ助成  
(1件1,000万円 30件)

## 医学系研究助成

満45歳未満の大学医学部および大学の医学系研究部門またはその他の医学系研究機関に所属する研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究へ助成  
(1件200万円 240件)

## 医学系研究継続助成

2018年度および2019年度の医学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 30件)

## 薬学系研究助成

満45歳未満の大学薬学部および大学の薬学系研究部門またはその他の薬学系研究機関に所属する研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的かつ先駆的な研究へ助成  
(1件200万円 40件)

## 薬学系研究継続助成

2018年度および2019年度の薬学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 5件)

## ライフサイエンス研究助成

満45歳未満の医学・歯学・薬学系以外の大学・学部、研究機関および高等専門学校に所属する生命科学分野の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究へ助成  
(1件200万円 42件)

## ライフサイエンス研究継続助成

2019年度のライフサイエンス研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 4件)

## 特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究(学内または複数機関の融合研究)へ助成  
(1件3,250~5,000万円 14件)

## ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究へ助成  
(1件200万円 33件)

## ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2018年度および2019年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で、卓越した研究へ継続助成  
(1件500万円 10件)

## ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2018年度および2019年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究へ継続助成  
(1件1,000万円 5件)

## ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2018年度および2019年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究へ継続助成  
(1件3,000万円 1件)

## 中学校・高等学校理科教育振興助成

国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、中学校・高等学校の理科教育に貢献する研究または実践へ助成  
(1件30万円 70件)

## 杏雨書屋研究助成

日本在住の研究者を対象に杏雨書屋所蔵の資料に関わる研究へ助成  
(1件50~100万円 5件)

## 2021 年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています（敬称略）  
所属機関・職位は応募時のものです

### 武田報彰医学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
池田 史代	九州大学 生体防御医学研究所 医学系学府 炎症制御学分野	教授	新規ユビキチンシグナルによる炎症制御機構の解明
石黒 啓一郎	熊本大学 発生医学研究所 染色体制御分野	教授	減数分裂と体細胞分裂との違いを生み出す分子機構
菊地 和	国立循環器病研究センター 再生医療部	部長	心筋自己再生原理の解明と治療応用
佐藤 荘	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫アレルギー学分野	教授	疾患特異的ミエロイド系細胞の機能的多様性の研究
佐藤 俊朗	慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念講座 オルガノイド医学	教授	加齢に伴う消化器組織のエピゲノム・代謝異常の理解
鈴木 洋	名古屋大学 大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研 究センター 分子腫瘍学	教授	動的ゲノム制御ネットワークの作動原理の解明と疾患研究への応用
西増 弘志	東京大学 先端科学技術研究センター	教授	多様な RNA 誘導型ヌクレアーゼの作動機構の解明と医学への応用
村川 泰裕	京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点	教授	エンハンサーを起点とした新しいゲノムサイエンスによるヒト疾患のメカニズム解明研究
吉見 昭秀	国立がん研究センター研究所 がん RNA 研究ユニット	独立 ユニット長	臓器横断的先端 RNA processing 解析に基づく新規治療法の開発
渡辺 登喜子	大阪大学 微生物病研究所 感染機構研究部門 分子ウイルス分野	教授	新型コロナウイルスの増殖および病原性発現の分子基盤の解析

計 10 件

### ハイリスク新興感染症研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
石垣 宏仁	滋賀医科大学 医学部 医学科 病理学講座 疾患制御病態学部門	助教 (学内講師)	各種ウイルス既感染カニクイザルにおける新型コロナウイルスに対する病原性の評価
岩崎 正治	大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター 新興ウイルス感染症研究グループ	特任准教授 (常勤)	出血熱アレナウイルスの新規マウス感染モデルの確立と応用
岩村 千秋	千葉大学 大学院医学研究院 国際アレルギー粘膜免疫学	特任講師	新型コロナウイルス感染症における血管病変を中心とした重症化メカニズムの解明と新規バイオマーカーによる治療戦略の樹立
Wing JamesBadger	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ヒト免疫学 (単一細胞免疫学)	特任准教授 (常勤)	新型コロナウイルス感染症の日本人患者における単細胞プロテオーム解析
大松 勉	東京農工大学 農学部 附属国際家畜感染症防 疫研究教育センター	准教授	重要感染症の自然宿主であるコウモリのウイルストランス機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
佐々木 道仁	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門	講師	シングルセル遺伝子発現解析を用いた新型コロナウイルス感染症重症化分子機構の解明
田中 信忠	北里大学 薬学部 創薬物理化学教室	教授	実験科学と計算化学の相補的活用による新型コロナウイルス感染過程阻害剤の開発
南保 明日香	長崎大学 感染症共同研究拠点感染病態研究分野（熱帯医学研究所）	教授	多様な生体膜動態イメージング技術を用いたエボラウイルス粒子形成機構の解明
野澤 孝志	京都大学 大学院医学研究科 微生物感染症学分野	助教	高病原性レンサ球菌に対する Functional genomics による創薬シーズのプラットフォーム構築
渡辺 俊平	岡山理科大学 獣医学部 微生物学講座	准教授	新型ニパウイルスの疫学ならびに病原性に関する研究

計 10 件

## 生命科学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
有田 誠	慶應義塾大学 薬学部 代謝生理化学講座	教授	加齢に伴う臓器や老化細胞の脂質代謝変動の包括的解析と生理的意義の解明
飯島 則文	医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所 細胞核輸送ダイナミクスプロジェクト	サブプロジェクトリーダー	神経向性ウイルス感染を制御する獲得免疫系の重要性
稲垣 毅	群馬大学 生体調節研究所 代謝エピジェネティクス分野	教授	生活習慣病発症の基盤となるエピゲノム代謝記憶
梅津 大輝	東北大学 大学院生命科学研究科 組織形成分野	助教	新規筋組織リモデリング現象に注目した遊走細胞による自律分散制御システムの最適化ロジック
海老原 敬	秋田大学 大学院医学系研究科 微生物学講座	教授	自然リンパ球特異的転写後調節機構の解析
大槻 元	京都大学 大学院医学研究科 創薬医学講座	特定教授	脈管・免疫系の発達と破綻に着目した精神疾患発症機序
沖米田 司	関西学院大学 理工学部 生命医化学科 沖米田研究室	教授	形質膜タンパク質品質管理における CARPs の機能解析と形質膜関連分解基質タンパク質の同定
加藤 公児	岡山大学 異分野基礎科学研究所 光合成・構造生物学研究コア構造解析研究分野	特任准教授	光化学系 I の多様性と分子進化の解明
加納 純子	東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系 加納研究室	教授	染色体末端領域サブテロメアを介した様々な生命現象の制御機構の解明
木原 章雄	北海道大学 薬学研究院 生化学研究室	教授	結合型セラミドによる皮膚透過性バリア形成の分子機構の解明
清光 智美	沖縄科学技術大学院大学 細胞分裂動態ユニット	准教授	急速タンパク分解法による、初期胚分裂の正確性を生み出す仕組みの統合的理解
坂口 昌徳	筑波大学 国際統合睡眠医学研究機構	准教授	不安障害の背後にある可塑的な神経回路の機能破綻
白壁 恭子	立命館大学 生命科学部 生命医科学科 タンパク質修飾生物学研究室	教授	ヒト間葉系幹細胞の分化における接着分子のシェディングの役割
末次 志郎	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域分子医学 細胞生物学 先端科学技術研究科	教授	細胞突起依存的な細胞外小胞による細胞間情報伝達の研究

氏名	所属機関	職位	研究題目
杉原 加織	東京大学 生産技術研究所	講師	ダブル・コオペラティブ効果をスイッチングしている細胞膜内分子の特定
武内 章英	京都大学 大学院医学研究科 生体構造医学講座 形態形成機構学教室	准教授	神経細胞特異的な遺伝子発現制御機構の統合的理解とその破綻による神経疾患発症の分子病態解明
谷口 雄一	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点	教授	構造を軸としたゲノムの分子反応機構の理解
中川 嘉	富山大学 和漢医薬学総合研究所 複雑系解析分野	教授	絶食誘導因子による多面的調節機構を介した全身性脂質代謝メカニズムの解明
中道 範人	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 植物生理学研究室	特任准教授	タンパク質複合体ダイナミクスから探る植物時計のペースメーカーの実体
仁子 陽輔	高知大学 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門	助教	強散乱体を突破する革新的生体二光子蛍光イメージング技術の確立に向けた超高輝度蛍光ナノプローブの創成
西山 千春	東京理科大学 基礎工学部 生物工学科	教授	腸内細菌代謝産物がもたらす抗アレルギー・抗炎症作用の分子機構解明に向けたマスト細胞研究基盤の構築
新田 剛	東京大学 大学院医学系研究科 免疫学講座	准教授	胸腺微小環境の全容解明による T 細胞免疫システムの理解・制御
野間 健一	北海道大学 遺伝子病制御研究所 ゲノム医生物学分野	教授	進化上保存された 3D ゲノム構造の形成機構とその生物学的役割の解明
花田 礼子	大分大学 医学部 神経生理学講座	教授	肝 ATP・ADO 動態に着目した NAFLD/NASH の新たな病態機構解明と治療への応用
本田 知之	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学	教授	内在性ウイルス叢が担う環境応答システムの解明
三上 秀治	北海道大学 電子科学研究所 生命科学研究部門 光情報生命科学研究分野	教授	光・情報技術の融合による網羅的膜電位計測法の創出
三木 裕明	大阪大学 微生物病研究所・細胞制御分野	教授	酸性化したがん微小環境への適応と浸潤運動の誘発の研究
山崎 小百合	名古屋市立大学 大学院医学研究科 免疫学	教授	制御性 T 細胞と樹状細胞のバランスによる免疫系・生体恒常性制御機構の解明と新規免疫療法・再生療法への挑戦
吉村 由美子	自然科学研究機構 生理学研究所 視覚情報処理研究部門	教授	生得性と経験依存性の相互作用による大脳皮質神経回路構築メカニズム
和多 和宏	北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門	准教授	自発的行動によって制御される発声学習臨界期の神経分子メカニズムの解明

計 30 件

## 医学系研究助成

<がん領域(基礎)>

氏名	所属機関	職位	研究題目
安藝 翔	東京大学 先端科学技術研究センター ニュートリオミクス・腫瘍学分野 大澤研	特任助教	ミトコンドリアダイナミクスを制御する新規がん治療法の開発
浅田 健	理化学研究所 革新知能統合研究センター がん探索医療研究チーム	研究員	Pan-negative 肺がん症例における特異的な signature 探索とマルチオミクス解析を用いたがん分子メカニズムの解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
飯塚 大輔	放射線医学総合研究所 放射線影響研究部 発がん動態研究グループ	研究統括	微小炎症を発端とする乳腺発がんの包括的理解
植田 航希	福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座	講師	前白血病病変から急性白血病への進展機序の解明と進展を予防する治療の開発
嬉野 博志	佐賀大学 医学部 血液腫瘍内科	病院講師	慢性骨髄性白血病 (CML) 治療を目指した CML 幹細胞をターゲットとした新規 DNA メチル化阻害剤併用治療戦略
大橋 圭明	岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科	研究准教授	REIC 遺伝子発現アデノウイルスベクターによる EGFR 肺癌に対する革新的腫瘍免疫療法の開発
尾上 耕一	名古屋大学 医学系研究科 分子腫瘍学	助教	がん細胞における高頻度なイントロン内ポリアデニル化の発生源の解明
越智 陽太郎	京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学	特定助教	骨髄性腫瘍における転写異常の包括的解析
加藤 真一郎	名古屋大学 大学院医学系研究科 分子細胞免疫学	特任助教	長鎖非コード RNA の機能解析に基づく細胞系譜特異的ながん増殖制御機構の解明
川内 大輔	国立精神・神経医療研究センター 病態生化学研究部 細胞生化学研究室	室長	小児脳腫瘍における SRC シグナルによる発がん機構の解明とそれを基盤とした新規治療法の開発
北島 正二郎	慶應義塾大学 先端生命科学研究所	特任講師	細胞分裂制御によるがん幹細胞分化誘導メカニズムの解明
栗本 遼太	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 システム発生・再生医学分野	助教	RNA 階層における zinc-finger 遺伝子による腫瘍病態解明と創薬基盤の確立
小金澤 紀子	群馬大学 大学院医学系研究科 薬理学	助教	超解像 STED 顕微鏡によるトンネルナノチューブ形成の分子機序の研究；悪性脳腫瘍の治療抵抗性の克服を目指して
小森 忠祐	和歌山県立医科大学 解剖学 第二講座	准教授	NAFLD/NASH を基盤とした肝癌の発症機序の解明と治療への応用
古屋 淳史	国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野	主任研究員	マルチオミクス技術を駆使した B 細胞リンパ腫特異的 PD-L2 バリエーションの発現制御機構および生物学的意義の解明
齋藤 敦	広島大学 大学院医系科学研究科 分子細胞情報学	准教授	小胞体局在転写因子 OASIS を介した p53 非依存的癌治療戦略の構築
末永 雄介	千葉県がんセンター研究所 発がん制御研究部	研究員	ヒトにのみ存在するがん遺伝子 NCYM による細胞死抑制機構の解明
高橋 良太	東京大学 保健・健康推進本部	助教	癌の微小環境における機能解析に立脚した VCAM-1 標的療法の確立
谷山 大樹	広島大学 大学院医系科学研究科 分子病理学	助教	消化管癌の抗癌剤耐性オルガノイドの樹立とその解析による個別化医療の確立
常松 貴明	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野	助教	Aurora-B を介した新たな幹細胞制御機構の解明とそのがん幹細胞研究への応用による新規治療法の開発
中田 知里	大分大学 医学部 腎泌尿器外科学講座	特任助教	腎臓明細胞癌で異常発現する miR-210 の生物学的機能の解析～miR-210 はエネルギー代謝の変動を介して細胞増殖・分化を制御しうるか？～
中村 康平	熊谷総合病院 産婦人科	医員	全エクソン解析を用いた類内膜癌、明細胞癌の内臓症起源説に基づく発症機序の解析
中本 晋吾	千葉大学 医学部附属病院 消化器内科	助教	肝癌における可溶性 MHC-クラス I 関連鎖 A 分子の制御機構の解明と、その応用による革新的発癌抑止法の開発
中山 寛尚	広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻	講師	軸索誘導因子 netrin-1 を標的とした新たな大腸癌評価・診断法の開発
仁科 惣治	川崎医科大学 肝胆膵内科学	准教授	腫瘍局所で光温熱効果を発揮する次世代型薬物送達システムの開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
林 玲匡	杏林大学 医学部 病理学教室	講師	空間的遺伝子発現解析を用いた膵癌の不均一性と偏在性の探索
林 康貴	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部	特任研究員	造血不全の原因となる間葉系幹細胞亜集団の解析
平松 由紀子	京都大学 大学院医学系研究科 消化器内科学講座	医員	新規大腸がん治療法開発にむけた腸腫瘍における ARID1A の機能解析
平山 真弓	熊本大学病院 中央検査部	医員	RNA ヘリケース DDX41 の遺伝子変異が RNA スプライシング複合体・RNA ポリメラーゼ II の連携喪失により造血不全を発症させる機序の解明
藤原 英晃	岡山大学病院 血液・腫瘍内科	助教	低酸素誘導因子による腸管低酸素環境の維持及び組織寛容性導入に着目した移植片対宿主病の新規予防・治療法の開発
平島 一輝	岐阜大学 連合創薬医療情報研究科 寄附講座 紅豆杉研究室	特任助教	高活性ミトコンドリア呼吸鎖複合体 I 阻害剤であるネオパタシンの標的分子の同定
星居 孝之	千葉大学 大学院医学研究院 分子腫瘍学	講師	エピゲノム制御と新生 RNA の連動を介したがん進展機構の解明
堀江 真史	大阪大学 医学系研究科 ゲノム生物学講座 がんゲノム情報学教室	准教授	臓器横断的マルチオミックス解析による神経内分泌腫瘍におけるエピゲノムと転写制御の全容解明
堀口 晴紀	熊本大学 大学院生命科学研究所 分子遺伝学講座	特任助教	がん細胞-微小環境間シグナルクロストークによる腫瘍免疫制御メカニズムの解明
本田 諒	岐阜大学 大学院連合創薬医療情報研究科	助教	活性型 KRAS を特異的に分解・修飾する酵素の開発
町谷 充洋	国立がん研究センター研究所 がん幹細胞研究分野	研究員	リン酸化 hTERT が相分離されるメカニズムの解明
松村 繁	名古屋大学 大学院医学系研究科 癌免疫治療研究室	特任講師	腫瘍溶解性ネオアジュバント細胞による新規癌免疫治療法の開発
三橋 里美	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム応用医学研究部門・ ゲノム機能多様性分野	准教授	ナノポア・ロングリードシーケンシングによるマイクロサテライト不安定性の解析
望月 麻衣	宮城県立がんセンター研究所 がん幹細胞研究部	研究員	Bi-functional RNA によるがん幹細胞維持機構の解明
谷貝 知樹	東北大学 加齢医学研究所 生体代謝制御学分野	助教	NRF2 活性化型肺癌細胞と癌微小環境における細胞外小胞を介した癌増悪化メカニズムの解明
山田 幸司	東京慈恵会医科大学 医学部 生化学講座	講師	肝がんにおける型破り分泌の分子機構の解明
横山 隆志	山梨大学 医学部 大学院総合研究部 医学域 生化学講座第 2 教室	特任助教	TRIB1 による MAP キナーゼ経路と EMT 関連遺伝子の転写活性化を介したがん進展メカニズムの解明
吉野 優樹	東北大学 加齢医学研究所 腫瘍生物学分野	助教	ATF1 結合ペプチドを用いた抗がん薬耐性の克服
王 秀騰	産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 生体材料研究グループ	主任研究員	光増感と in situ ワクチンを一体化したがん免疫治療薬の開発

計 44 件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
青木 一成	京都大学 ウイルス再生医科学研究所 幹細胞遺伝学	助教	CXCL12-CXCR4 軸による多発性骨髄腫細胞制御に必須の細胞内分子の網羅的探索と in vivo 機能解析

氏名	所属機関	職位	研究題目
安藤 幸滋	九州大学 大学院 消化器・総合外科	併任講師	血中遊離消化器がん細胞の新規かつ確実な回収法の開発および治療への応用
糸永 英弘	長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野(原研内科)	客員研究員	JAK2-V617F 変異陽性骨髄性腫瘍における CARM1 阻害剤と JAK2 阻害剤の併用療法の開発
大石 直輝	山梨大学 大学院 総合研究部 医学域 人体病理学講座	講師	Super-enhancer に注目した節外性 NK/T 細胞リンパ腫の統合分子プロファイリングと予後層別化モデルの確立
小倉 浩一	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科	医員	Ewing 肉腫における ERF 変異の機能解析および治療標的の探索
笠島 裕明	大阪市立大学 大学院医学研究科 外科癌分子病態制御学	研究員	抗原提示性癌関連線維芽細胞が腫瘍免疫に及ぼす影響の解析と大腸癌免疫治療への応用
加藤 侑希	日本大学 医学部 機能形態学系 生体構造医学分野	助教	婦人科癌の早期診断を可能にする脂質代謝バイオマーカーの開発
河嶋 厚成	大阪大学 大学院医学系研究科 器官制御外科学講座(泌尿器科学)	助教	血液内細菌叢ならびに細菌叢関連代謝情報に注目した尿路上皮癌新規診断薬の開発
菊繁 吉謙	九州大学病院 遺伝子細胞療法部	講師	フォスファチジン酸合成経路を標的としたヒト白血球幹細胞根絶のための新規治療法の構築
岸本 曜	京都大学 大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	助教	マルチオミクスアプローチによる喉頭癌発症機序の解明
木瀬 康人	大阪大学 大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室	助教	同所移植 PDX マウスモデルと RNAseq/ATACseq を用いた ARID1A 変異婦人科がんへの新規分子標的薬併用療法の有効性と作用機序の解明
粕 雄一郎	神戸大学 大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野	准教授	癌細胞と間質細胞との 3 次元共培養による食道扁平上皮癌微小環境の解析
柴原 一陽	北里大学 医学部 脳神経外科	講師	膠芽腫剖検脳を用いた腫瘍死に導く分子基盤の解明
玉利 慶介	大阪大学 大学院医学系研究科 放射線治療学教室	助教	血中 exosomal PD-L1 による臓器横断的な癌の放射線治療効果予測に関する検討
田村 彰広	兵庫県立こども病院 血液腫瘍内科	医長	単球/マクロファージの不均一性に着目した神経芽腫の病態解明
内木 拓	名古屋市立大学 大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野	講師	前立腺癌における細胞間コミュニケーション機構を介した進展機序の解明とマイクロ RNA ステータスに基づいたリスク分類の樹立
丹羽 直也	慶應義塾大学 医学部 泌尿器科学教室	非常勤講師	アンメットメディカルニーズを克服する BCG 抵抗性膀胱がんのシングルセル解析
橋本 浩平	がん研有明病院 呼吸器センター 外科	副医長	肺癌手術における革新的術中診断方法の開発
長谷川 佳那	九州大学 大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔病理学研究分野	助教	Hippo シグナルに注目した口腔上皮内癌の発生メカニズムの解明—細胞異型を誘導する因子の同定—
濱田 毅	東京大学 医学部附属病院 消化器内科	助教	分子病理学的サブタイプに基づいた喫煙と肺癌患者の予後の解析
福岡 講平	埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科	医長	5 歳未満発症中枢神経胚細胞腫の分子遺伝学的解析
福本 毅	神戸大学 医学部附属病院 皮膚科	助教	がん代謝のエピゲノム制御に着目した新規治療戦略の開発
前田 亮	宮崎大学 外科学講座(呼吸器乳癌外科)	講師	肺組織微小環境が肺がん術後の再発に及ぼす影響

氏名	所属機関	職位	研究題目
松田 諭	慶應義塾大学 医学部 外科学 (一般・消化器)	助教	食道癌における宿主と腫瘍の双方向評価による腫瘍モニタリングシステムの確立と炎症凝固異常のメカニズム解明を介した新規治療開発
三宅 智博	大阪大学 大学院医学系研究科 乳腺内分泌外科	助教	ER 陽性 HER2 陰性乳癌のセンチネルリンパ節転移関連 microRNA 発現解析に基づく再発予後予測への応用とその役割の解明
武者 篤	群馬大学 重粒子線医学推進機構・ 重粒子線医学研究センター	助教	放射線性口腔粘膜炎の発症予測情報共有による新規介入方法の開発
由雄 祥代	国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎研究部	肝疾患先端 治療研究 室長	切除不能進行肝がん患者における治療効果予測バイオマーカーの構築と新規免疫抑制機構の解明
渡辺 亮	群馬大学 大学院医学系研究科 総合外科学 肝胆膵外科	助教	疲弊化 CD8T 細胞の免疫チェックポイント分子発現スイッチングにおける制御性 T 細胞の役割解明に基づく革新的腫瘍免疫療法の開発

計 28 件

## ＜精神・神経・脳領域＞

氏名	所属機関	職位	研究題目
飯田 円	名古屋大学 大学院医学系研究科 神経内科学	助教	シングルセル RNA seq と ATAC seq を用いた球脊髄性筋萎縮症の早期病態の解明
池亀 天平	東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野	助教	セロトントランスポーター遺伝子の迅速多型タイピングと DNA メチル化解析による思春期精神発達の評価
石川 理子	慶應義塾大学 医学部 生理学 I 教室	助教	皮質トップダウン入力を担うシナプス可塑性および学習制御機構の解明
伊藤 泰行	新潟大学 医学部 神経生化学講座	助教	脳発生過程で最も高頻度にチロシンリン酸化される MAP1B の機能解明
今泉 研人	慶應義塾大学 医学部 生理学 II 教室	特任助教	オルガノイドによるサイズに応じた体軸パターン調整機構の解明
林 到炫	京都大学 大学院医学研究科 分子細胞情報学分野	助教	ドパミン受容体の立体構造に基づく新規精神・神経疾患治療薬の開発
内田 健太郎	北里大学 医学部 整形外科	講師	細菌分子のドメインシャフリングによる新たな末梢神経治療シーズの創出
及川 大輔	大阪市立大学 大学院医学研究科 分子病態学	准教授	非定型ユビキチン鎖の特異的制御による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法探索
大久保 洋平	順天堂大学 医学部 薬理学講座	准教授	脳内 1 分子イメージングに基づくシナプス病態解析法の開発
柏木 光昭	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 林悠研究室	助教	レム睡眠の神経メカニズム解明とその破綻がマウス脳機能に与える影響の解明
川上 裕	横浜市立大学 大学院生命科学研究科 生体機能医科学教室	客員研究員	神経回路形成因子 LOTUS の発現および分泌における、骨形成因子 BMP4 の制御機構の解析
木下 千智	帝京大学 医学部 薬理学講座	助教	microRNA 制御を介したタウリンの中枢神経保護効果
紀本 創兵	奈良県立医科大学 精神医学講座	講師	NPTX2 遺伝子を中心とする統合失調症の多層的な病態解析とバイオマーカー探索
國井 政孝	大阪大学 大学院医学系研究科 細胞生物学教室	助教	神経細胞の極性形成および脳の形態形成における細胞内極性輸送制御分子の機能の解明
國澤 和生	藤田医科大学 大学院保健学研究科 レギュラトリーサイエンス部門	助教	末梢免疫担当細胞による炎症制御システムから紐解くうつ病の新規治療戦略
久保田 学	京都大学 医学部附属病院 精神科神経科	特定助教	超高磁場 MRI 装置を用いた統合失調症の病態生理と脳内グルタミン酸・GABA との関連についての研究
隈元 拓馬	東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクト	主席研究員	種特異的なグリア細胞産生メカニズムの解明



氏名	所属機関	職位	研究題目
倉林 伸博	富山大学 学術研究部 医学系 行動生理学講座	講師	大脳新皮質における局所神経回路の形成を制御する分子メカニズム
小池 進介	東京大学 大学院総合文化研究科 附属進化認知科学研究センター	准教授	ライフコース脳構造・機能特徴の描出と疾患脳特徴のあてはめによる疾患分類法の確立
郷 詩織	名古屋大学 糖鎖生命コア研究所	特任助教	糖転移酵素 GLT8D1 機能が制御する神経機能維持機構の解明
古藤田 眞和	山梨大学 医学部 麻酔科学教室	助教	神経免疫機構におけるミエロイド系細胞のオートファジーの役割
小西 博之	名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学	講師	死細胞除去を促進する脳内メカニズム
小林 大貴	東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科 腫瘍医科学研究室	助教	解糖系酵素ホスホフルクトキナーゼ1 (PFK1) のミトコンドリア病治療標的としての有効性検証
篠原 充	国立長寿医療研究センター 分子基盤研究部	室長	原因因子、危険因子を基にしたアルツハイマー病の病態解明、治療薬開発
鈴木 元治郎	東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 認知症プロジェクト	主席研究員	神経変性疾患の原因となるタンパク質凝集体の神経細胞への取り込みとプリオン様伝播メカニズムの解明
高月 英恵	宮崎大学 医学部 医学科 感染症学講座 微生物学分野	助教	次世代 RT-QuIC 法を用いたヒトプリオン病の血液診断法の開発
高橋 光規	山梨大学 大学院総合研究部 医学域 解剖学講座 構造生物学教室	特任助教	光により神経活動の全てを制御する完全光学神経生理学法 TAON の開発
高橋 由香里	東京慈恵会医科大学 神経科学研究部	助教	線維筋痛症の発症における扁桃体中心核神経ペプチド系の意義の解明
竹内 雄一	大阪市立大学 大学院医学研究科 神経生理学	特任講師	オンデマンド脳活動介入によるてんかん治療法の開発
田中 良法	岡山理科大学 獣医学部 獣医学科 生化学講座	助教	核タンパク質 TDP-43 の細胞質内蓄積におけるプログラニユリンの役割
張 琪	筑波大学 人間系社会行動神経ネットワーク研究室	助教	先天性 GPI 欠損症の神経基盤の解明とその非侵襲的遺伝子治療法の新規開発
鳥海 和也	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 統合失調症プロジェクト	主任研究員	新規ペントシジン産生経路を基盤とした統合失調症糖化病態の理解
成清 公弥	東邦大学 医学部 医学科 解剖学講座 微細形態学分野	助教	統合失調症の精神症状に関わる神経回路メカニズムの解明
野崎 一郎	金沢大学 脳老化・神経病態学(脳神経内科学)	助教	筋萎縮性側索硬化症における CD47-SIRPalpha 系を介した神経障害機構の解明
萩原 明	山梨大学 医学部・生化学講座第一教室	准教授	うつ病等の神経疾患に関与する神経機構とシナプス伝達の解析
長谷川 孝一	島根大学 医学部 神経・筋肉生理学	講師	神経突起の機能的な空間配置を規定する分子メカニズムの解明
服部 早紀	横浜市立大学 精神医学教室	助教	抗精神病薬が膵臓における代償性ベータ細胞増加機構のシグナル経路へ及ぼす影響
服部 祐季	名古屋大学 大学院医学系研究科 細胞生物学分野	特任助教	ニューロン産生を制御するマイクログリア脳内監視システムの解明
服部 頼都	国立循環器病研究センター 脳神経内科	医長	Brain-gut axis に着目した腸内細菌叢異常に伴う脳卒中発症メカニズムの解明
林 周一	川崎医科大学 解剖学	准教授	感覚運動統合を制御する大脳皮質-高次視床核路の分子発生機構

氏名	所属機関	職位	研究題目
平 理一郎	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 細胞生理学分野	准教授	大脳皮質多階層回路における誤差情報の生成・伝搬とその深層学習との類似性
藤井 雄	信州大学 医学部 脳神経外科	助教	革新的脳生検術「ボーリングバイオブシー」で採取した脳腫瘍組織検体がもたらす病理学的意義の解明
藤岡 祐介	名古屋大学 大学院医学系研究科 神経変性認知症制御研究部	特任助教	FUS/SFPQ 関連 RNP 複合体プロファイルに着目した FTLD スペクトラムに対する核酸医薬開発
藤原 和之	群馬大学 大学院医学系研究科 遺伝発達行動学分野	助教	GABA 神経系と神経免疫の相互作用による統合失調症難治化メカニズムの解明
北條 慎太郎	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学分野	准教授	ストレス依存性微小炎症による進行型多発性硬化症の発症機序の解明
松原 崇紀	藤田医科大学 医学部 生理学Ⅱ講座	助教	ナノ粒子シンチレータを用いた低被ばく線量 X 線光遺伝学法の開発
眞部 寛之	同志社大学 脳科学研究科 システム脳科学分野 神経回路情報伝達機構部門	准教授	嗅皮質に入力するトップダウン情報の伝達機構とその機能的意義の解明
水野 克俊	福井大学 学術研究院 医学系部門	助教	神経軸索性インポーチン alpha (KPNA) による細胞質ダイニン輸送制御と精神・神経疾患発症機構の解明
村松 里衣子	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 神経薬理研究部	部長	神経回路の再生阻害因子の探索とその制御
森口 翔	慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室	助教	治療抵抗性うつ病ならびに非定型うつ病に対する生体内 MAO-B 密度測定研究
山本 直樹	自治医科大学 医学部 生理学講座 生物物理学部門	助教	新しい分子戦略に基づいたアルツハイマー病治療薬の開発
米重 あづさ	近畿大学 医学部 病理学教室	助教	神経接着分子を標的とした経鼻的頭蓋内薬物送達の有効性検証と神経疾患治療への応用
米田 泰輔	自然科学研究機構 生理学研究所 視覚情報処理研究部門	特任助教	大脳皮質における高度に可塑的な神経細胞の探索

計 53 件

## &lt;感染領域&gt;

氏名	所属機関	職位	研究題目
有井 潤	神戸大学 大学院医学研究科 臨床ウイルス学分野	特命准教授	比較ウイルス学によるヒトヘルペスウイルス 6 病態発現機構の解明
河合 聡人	藤田医科大学 医学部 微生物学講座	助教	最適な beta-ラクタム系抗菌薬と beta-ラクタマーゼ阻害薬併用療法の提案に向けた基質特異性拡張型クラス C beta-ラクタマーゼの構造化学研究
工藤 恵理子	大阪大学 大学院医学系研究科 感染症・免疫学講座 生体防御学	助教	RNA ウイルス感染症における自然リンパ球 ILC2 の免疫記憶機能の解明
小林 進太郎	北海道大学 大学院獣医学研究院 獣医学部門衛生学分野 公衆衛生学教室	准教授	神経向性フラビウイルス感染による脳炎の病態形成機構の解明につながる核-細胞質タンパク質輸送に関する研究
下平 義隆	山形大学 医学部 医学科 感染症学講座	助教	C 型インフルエンザウイルスのゲノムパッケージング機構に関する研究
助川 明香	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野	助教	革新的な HIV-1 根治をめざした新規創薬化合物の戦略的探索
鈴木 達也	大阪大学 微生物病研究所 高等共創研究院 岡本研究室	助教	蚊媒介性フラビウイルス感染症の制圧に向けた蚊の唾液中の感染増強因子の探索

氏名	所属機関	職位	研究題目
高園 貴弘	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学	助教	免疫エフェクター細胞を用いたアスペルギルス症の新規治療法の開発
高松 由基	国立感染症研究所 ウイルス第一部	主任研究官	フィロウイルス形成機構の解明
辻村 祐佑	国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 感染制御部	主任研究官	非結核性抗酸菌感染が BCG のワクチン効果に与える影響
津々木 博康	熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座	助教	活性窒素種による志賀毒素産生性大腸菌毒素 SubAB の毒性制御機構の解明
豊田 真子	熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野	特任助教	HIV-1 Env と宿主膜蛋白質の動的相互作用がウイルス感染性および病態形成に及ぼす機序の解明
直 亨則	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター ザンビア拠点	特任助教	オミックス解析による新型コロナウイルス感染関連宿主因子の網羅的解析
日吉 大貴	長崎大学 熱帯医学研究所 細菌学分野	助教	ネズミチフス菌の T3SS-2 を介した新規全身感染機構の解析
平川 秀忠	群馬大学 大学院医学系研究科 細菌学講座	准教授	病原性大腸菌感染症に対する新規標的薬の創出を目指した in vivo 必須因子の網羅的同定
平松 征洋	大阪大学 微生物病研究所 分子細菌学分野	助教	宿主感染時に高発現する small RNA を介した百日咳菌の病原性発現制御機構の解析
眞島 いづみ	奥羽大学 歯学部 口腔病態解析制御学講座 口腔感染免疫学分野	講師	CRISPRi を用いたゲノム編集口腔ペイオネラ株による新規歯周病予防法の確立
松山 政史	筑波大学附属病院 呼吸器内科	病院講師	肺非結核性抗酸菌症の治療効果を予測する全血液細胞の遺伝子発現プロファイリング
村瀬 一典	京都大学 医学研究科 微生物感染症学分野	助教	細菌由来細胞外小胞を介した病原性発現機構とワクチン開発への理論的基盤構築

計 19 件

## &lt;基礎&gt;

氏名	所属機関	職位	研究題目
赤間 悠一	三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター	助教	自然リンパ球が骨格筋の機能的萎縮を抑制する：敗血症サバイバー早期離床への新規治療標的の研究
浅野 澄恵	川崎医科大学 リウマチ・膠原病学	臨床助教	骨細胞様細胞と炎症に着目した血管石灰化の病態解析～石灰化退縮を目指す新規治療戦略の探索～
阿部 太紀	東北大学 大学院医学系研究科 遺伝医療学分野	助教	ユビキチン修飾関連分子 LZTR1 の機能障害に起因した先天性心疾患発症機序解明と治療法開発
池田 崇之	金沢医科大学 医学部 生化学Ⅱ	准教授	E3 ユビキチンリガーゼ HUWE1 の Rheb 活性化における役割の解明
伊藤 正道	東京大学 医学部附属病院 循環器内科	特任助教	LMNA 変異特異性拡張型心筋症における DNA 損傷蓄積機序の解明と新規治療化合物の探索
内村 幸平	山梨大学 大学院総合研究部 医学域 内科学講座 第3教室	助教	バーコード標識 iPS 細胞を用いた腎臓オルガノイド分化・成熟過程における細胞系譜の追跡
梅田 香織	日本大学 医学部 生体機能医学系 生化学分野	助教	核内受容体 LXR による肝臓マクロファージ制御機構の解明と非アルコール性脂肪性肝疾患への影響
宇山 徹	香川大学 医学部 生体分子医学講座 生化学	学内講師	新奇脂質代謝酵素 PLAAT ファミリーが示す生体内機能の包括的な解析
占部 文彦	東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座	助教	シングルセル発現解析によるハンナ型間質性膀胱炎の病態解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
岡 泰由	名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野	講師	ホルムアルデヒド代謝異常により発症する遺伝性疾患の分子病態解明
沖 真弥	京都大学 大学院医学研究科 創薬医学講座	特定准教授	遺伝性疾患のエピジェネティックな要因を探る
笠原 朋子	京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 システムゲノム医学	特定助教	発生エンハンサーによるヒト腎発生の機序解明
加塩 麻紀子	愛知医科大学 医学部・生理学講座	講師	体温センサーTRPM2 体温下活性制御とシグナルソーム形成メカニズムの解明
加藤 君子	愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 遺伝子医療研究部	研究員	レット症候群をモデルとした X 連鎖性疾患の病態発症機序の解明
加藤 耕治	名古屋市立大学 大学院医学研究科 新生児・小児医学分野	研究員	エンドソームのリサイクル機能不全による新規疾患の筋骨格系における病態解析と治療法の検討
加門 正義	愛媛大学 大学院医学系研究科 機能組織学講座	助教	筋特異的転写因子である MYF5 の発現調節領域における DNA メチル化に着目した筋高分化 iPS 細胞選別法の開発
河合 喬文	大阪大学 大学院医学系研究科 統合生理学	助教	生体内に存在する電位依存的な酵素活性の多面的な理解
川崎 綾	筑波大学 医学医療系 分子遺伝疫学	助教	統合的ゲノム解析による ANCA 関連血管炎発症および周質性肺疾患合併の病態解明と発症予測バイオマーカーの探索
久富 理	山梨大学 大学院総合研究部 解剖学講座 細胞生物学教室	特任助教	免疫機能と繊毛の関係：T 細胞分化の制御機構の解明
倉原 琳	香川大学 医学部 自律機能生理学	准教授	凝固系を標的とする新たな消化管線維化狭窄治療薬の開発
小林 枝里	東北大学 大学院医学系研究科 情報遺伝学分野	助教	ヒト胎盤幹細胞モデルの核内高次構造変異を介した妊娠高血圧症候群の病態解明
小林 哲郎	理化学研究所 生命医科学研究センター 自然免疫システム研究チーム	研究員	上皮細胞と自然リンパ球の相互作用を主軸としたアトピー性皮膚炎の病態解明
小林 真左子	日本歯科大学 生命歯学部 口腔外科学講座	講師	マクロファージの極性を制御する炭酸カルシウムナノ粒子と Injectable platelet-rich fibrin を応用した創傷治癒を促進するフィブリンシーラントの開発
小原 幸弘	愛媛大学 大学院医学系研究科 分子病理学講座	助教	骨粗鬆症に対する新規治療標的として同定した Calreticulin の骨代謝制御機構の解明
酒井 亮太	埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科	助教	半月体形成性糸球体腎炎における GATA3 陽性 Treg と腎固有細胞とのクロストーク
佐々木 崇晴	理化学研究所 生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム	基礎科学 特別研究員	肥満を誘導する自然リンパ球を介した腸内細菌機能制御機構の解析
佐藤 啓介	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 神経機能形態学分野	助教	分子配向プローブ POLARIS を用いた超解像分子配向イメージングによる細胞分裂過程における核ラミナ形成機構の解明
椎村 祐樹	久留米大学 分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門	助教	創薬応用を見据えたグレリン受容体の構造基盤の構築
椎森 仁美	医薬基盤・健康・栄養研究所 感染病態制御ワクチンプロジェクト	研究員	骨格筋再生を制御する mRNA 翻訳調節機構の解明
嶋田 圭祐	大阪大学 微生物病研究所 遺伝子機能解析分野	助教	精子ミトコンドリアダイナミクスに関わる分子メカニズムの解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
下村 拓史	自然科学研究機構 生理学研究所 神経機能素子研究部門	助教	非天然アミノ酸を利用した光遺伝学ツール作成法
白川 龍太郎	東北大学 加齢医学研究所 基礎加齢研究分野	助教	新規グラニルグラニル転移酵素のオートファジーおよび神経変性疾患における役割の解明
新城 尊徳	九州大学 大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 歯周病学分野	助教	歯周炎による糖尿病性腎臓病増悪における糸球体H-PGDSの役割の解明
杉浦 歩	順天堂大学 大学院 難治性疾患診断・治療学	講師	マウス初期胚発生のオルガネラネットワークにおけるペルオキシソームの時空間的機能解析
鈴木 歩	埼玉医科大学 医学部 ゲノム基礎医学 奥田研究グループ	講師	減数分裂の抑制とその解除のメカニズムの解明
数藤 孝雄	大阪大学 大学院医学系研究科 免疫細胞生物学	助教	ドナー由来自然リンパ球が造血幹細胞移植後に果たす役割の解明
関根 弘樹	東北大学 加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野	講師	リソソームによる酸素感知が制御する炎症応答エピゲノム
孫 ユリ	北海道大学 遺伝子病制御研究所 幹細胞生物学分野	講師	褐色脂肪機能異常を感知する新規標的因子による代謝制御の分子機構
高藤 義正	近畿大学 医学部 再生機能医学講座	助教	基質小胞を介する新しい骨代謝、糖代謝制御機構の解明
立松 恵	秋田大学 大学院医学系研究科 微生物学講座	助教	重症先天性好中球減少症の新規責任遺伝子の探索
塚崎 雅之	東京大学 大学院医学系研究科 免疫学	特任助教	免疫-骨-血管の多臓器システム連関を基軸とした血管石灰化機構の解明
戸田 郷太郎	東京大学 大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科	助教	食事に対する腸管免疫の応答による正常代謝の維持メカニズムの解明と肥満抵抗性免疫細胞の作成による新規肥満治療の検討
外山 研介	愛媛大学 大学院医学系研究科 薬理学講座	助教	血管新生治療においてノンレスポンス因子となるmicroRNAの探索とその臨床応用への可能性の検討
長岡 創	奈良県立医科大学 医学部 発生・再生医学講座	助教	卵母細胞形成を支えるクロマチン高次構造の理解
仲田 浩規	金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学	講師	老化モデルおよび精路閉塞モデル動物を用いた精子形成障害発生過程の解明
中司 寛子	慶應義塾大学 医学部微生物学・免疫学教室	助教	T細胞老化におけるDNA脱メチル化酵素TETの機能解明
野村 憲吾	京都府立医科大学 大学院医学研究科 細胞生理学	助教	心理的ストレスと食塩の過剰摂取をつなぐ神経機構の解明
長谷川 頌	東京大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学	学振特別 研究員(PD)	オルガネラ連関を介したエネルギー代謝制御から見た腎臓病の病態解明
原口 省吾	昭和大学 医学部 生化学講座	講師	新規皮膚ホルモン発見にもとづく新たな皮膚疾患治療法の開発
樋口 真之輔	広島大学 大学院医系科学研究科 生体分子機能学	助教	運動器コンポーネントの連結メカニズムを原索動物の発生に学ぶ
平井 敏郎	大阪大学 微生物病研究所 BIKEN次世代ワクチン協働研究 所 ワクチン創成グループ	特任講師 (常勤)	組織局在型記憶T細胞の活性化が再構築する免疫監視網の解析
藤田 諒	筑波大学 トランスポーター医学研究セン ター 再生医学分野	助教	骨格筋組織幹細胞が秘めた新しい可能性の探索

氏名	所属機関	職位	研究題目
藤原 祥高	国立循環器病研究センター 分子生物学部 発生工学研究室	室長	遺伝子組換え動物を用いた哺乳類精子の受精能獲得機構の解明
伏屋 康寛	京都大学 医学研究科 細胞機能制御学	特定助教	直鎖状ユビキチン鎖生成亢進による感染症制御と新機能の探索
正木 豪	国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部	流動研究員	肺動脈性肺高血圧症の重症化を担う炎症関連転写因子に焦点を当てた新規治療法の開発と病態形成機構の解明
松下 一史	兵庫医科大学 免疫学講座	講師	アレルギー性鼻炎の発症における Th2 細胞の新たな役割の研究
松本 翔馬	滋賀医科大学 動物生命科学研究センター 幹細胞・ヒト疾患モデル研究分野	特任助教	PKD1 KO カニクイザルを用いた多発性嚢胞腎発症機序の解明
三浦 静	九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野	特任助教	ダイレクトリプログラミングを利用した移植可能な誘導腸前駆細胞の作製
三浦 浩美	東海大学 医学部 基礎医学系分子生命科学 遺伝子工学・ゲノム編集研究室	特任助教	ライプマイニングによる in vivo ゲノム編集評価系の確立と遺伝子治療への応用
三澤 拓馬	理化学研究所 生命医学研究センター 免疫細胞システム研究チーム	研究員	免疫系による新規脂肪代謝制御メカニズムの探索と解析
南 聡	大阪大学 大学院医学系研究科 生化学・分子生物学講座 遺伝学教室	特任助教	エクソソームを用いたオートファジーモニタリング方法の開発
峰岸 かつら	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部	リサーチフェロー (研究員)	ルシフェラーゼレポーターマウスを用いた核酸医薬・ゲノム編集薬の標的化デリバリー研究
三宅 健介	東京医科歯科大学 高等研究院 炎症・感染・免疫研究室	特任助教	アレルギー炎症抑制型マクロファージの分化・誘導機構の解明
望月 牧子	東京女子医科大学 医学部 医学科解剖学 (顕微解剖学・形態形成学分野)	助教	骨髄不全発症メカニズムにおける造血幹細胞ミトコンドリア QC の検討
森井 真理子	熊本大学 国際先端医学研究機構 白血病転写制御研究室	学術振興会 特別研究員	ストレス造血における幹細胞運命決定機構の解明
山下 友佑	和歌山県立医科大学 血液内科	学内助教	DNA リガーゼ IV の機能低下に起因する自己免疫病態の解明
吉川 治孝	徳島大学 先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター 細胞情報学分野	助教	ERK 依存的なリボソーム組み立て機構とその細胞増殖制御の解明
渡邊 翼	京都大学 複合原子力科学研究所 放射線生命科学部門 粒子線生物学研究分野	特定准教授	中性子捕捉ナイフシステムを用いた非腫瘍性難治性疾患の治療法確立

計 68 件

<臨 床>

氏名	所属機関	職位	研究題目
荒井 健一	富山大学 医学部 臨床生体材料応用講座	客員助教	脱細胞化技術により創出したヒト人工羊膜を用いた難治性創傷治療法の確立
池田 怜吉	東北大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科	講師	難治性耳管開放症に対する診断・治療に関する研究
今井 則博	名古屋大学 医学部附属病院 消化器内科・光学医療診療部	病院助教	肝疾患における核内脂肪滴の病態機能解明
今井 洋文	広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター	助教	T 細胞解析を中心としたリンパ浮腫の免疫病態の解明：リンパ管吻合による免疫能への影響

氏名	所属機関	職位	研究題目
上原 浩介	東京大学 医学部附属病院 整形外科	助教	手の機能障害が移動機能に与える影響（手の口コモ）の解明
白井 嘉彦	東京医科大学 臨床医学系 眼科学分野	准教授	多階層オミックスと人工知能解析による難治性ぶどう膜炎に関連したバイオマーカーの探索と新規治療法の開発
大塚 憲一郎	大阪市立大学 大学院医学研究科 循環器内科学	特任講師	冠動脈壁のコラーゲンリモデリングをイメージング標的とする vulnerable plaque 新規診断法の開発と臨床応用
河野 通仁	北海道大学 大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室	助教	細胞内代謝に注目した強皮症の病態解明
小林 純子	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 心臓血管外科	助教	ファロー四徴症における右室流出路狭窄の病態発生機序の解明と予後予測マーカーの開発
庄司 拓平	埼玉医科大学 眼科	准教授	固視点可動視野計の臨床応用と極早期視神経疾患の検出
田中 敦史	佐賀大学 医学部 循環器内科	特任准教授	急性心筋梗塞の包括的予後予測モデルの開発
中村 彰太	名古屋大学 医学部附属病院 呼吸器外科	講師	腹腔・胸腔内全体を可視化するパノラマビュートコカールの開発
入月 浩美	新潟大学 医歯学総合病院 遺伝医療支援センター	医員	PNPLA4 の標的脂質の探索とミトコンドリア呼吸鎖異常症の病態解明
長谷川 智子	京都大学 医学部附属病院 眼科	研究員	分岐鎖アミノ酸による新規網膜保護治療法の開発
坂東 弘教	神戸大学 大学院医学研究科 先進代謝疾患治療開発学 (糖尿病内分泌内科学)	特命助教	母体内環境因子曝露による先天性下垂体機能低下症発症機序の解明
日衛嶋 栄太郎	京都大学 医学部附属病院 発達小児科学	特定病院 助教	小児期発症の潰瘍性大腸炎および類似疾患における特異的自己抗体・自己抗原の同定
平井 敏仁	東京女子医大 八千代医療センター 泌尿器科	助教	移植腎抗体関連型拒絶反応における CODEX 免疫細胞マッピング
福島 清春	大阪大学 医学系研究科 総合地域医療学 寄付講座	助教	線維化に関わる血球サブセットの疾患組織環境における適応・機能分化メカニズムの解明
藤野 直也	東北大学病院 呼吸器内科	院内講師	マルチオミックス解析による重症喘息の病態解明と予防法開発
藤原 稔史	九州大学病院 整形外科	助教	関節リウマチにおける RNA 結合タンパク Musashi の関節滑膜増生・炎症・骨破壊の制御機構の解明
藤原 なほ	順天堂大学 医学部 小児外科学講座	准教授	ES 細胞を用いたヒルシュスプルング病の病態解明と革新的細胞治療法の開発
堀 美香	名古屋大学 環境医学研究所 内分泌代謝分野	講師	家族性高コレステロール血症の新規原因遺伝子の同定と機能解析
宮部 千恵	東京女子医科大学 皮膚科	非常勤講師	血管炎における病原微生物の網羅的解析と病態解明への挑戦
宮脇 哲	東京大学 医学部 脳神経外科	講師	髄膜腫の網羅的遺伝子解析を通じた悪性転化、再発機序の解明
三好 剛一	国立成育医療研究センター 臨床研究センター	研究推進 専門職	双胎間輸血症候群の発症予測マーカー開発に関する研究
山本 絵里香	京都大学 大学院医学研究科 循環器内科	医員	血行再建の適応とならない慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性および安全性の検討
横田 和也	総合せき損センター 整形外科	副部長	ヒト体細胞由来神経幹細胞移植における脊髄再生のメカニズム
和田 剛志	北海道大学 大学院医学研究院 侵襲制御医学講座 救急医学教室	助教	凝固・補体遺伝子解析による敗血症性播種性血管内凝固症候群と血栓性微小血管症の併存病態解明研究

計 28 件

医学系研究継続助成

<がん領域（基礎）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
籠谷 勇紀	愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫応答研究分野	分野長	細胞傷害性 T 細胞に対する抵抗性に関わるがん細胞の特性に着目したがん免疫療法の改良開発
合山 進	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 先進分子腫瘍学分野	教授	RUNX1-STUB1 PROTACs の作製と治療応用
櫻井 雅之	東京理科大学 研究推進機構 生命医科学研究所 櫻井研究室	専任講師	RNA・DNA 編集によるゲノム安定性制御
佐々木 克博	京都大学 大学院医学研究科 細胞機能制御学	講師	直鎖状コピキチン鎖生成亢進に基づく腫瘍形成及び免疫逃避機構の解明

計 4 件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
後藤 和人	九州大学病院 検査部	助教	骨髄性白血病に対するミトコンドリアをターゲットとした新薬開発
仙谷 和弘	広島大学 大学院医系科学研究科 分子病理学	講師	超保存領域 T-UCR による癌の分子機構の解明と組織 heterogeneity の検討
田宮 大也	大阪国際がんセンター 整形外科	副部長	フェロトシスにおける SHARPIN および PRMT5 の機能解析
中村 光宏	京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 総合医療 科学コース 情報理工医療学講座 医学物理学 学分野	准教授	早期肺癌に対する定位放射線治療成績向上を目的とした Radiomics 特徴量に基づく遠隔転移予測モデルの構築
牧野 知紀	大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学Ⅱ	助教	食道癌・胃癌に対する新規免疫複合療法確立のための腫瘍微小免疫環境の解明

計 5 件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
石田 綾	慶應義塾大学 医学部 生理学Ⅰ	専任講師	Cbln ファミリー分子による入力依存的な神経回路変容機構の解明
近藤 邦生	自然科学研究機構 生理学研究所 生体機能調節研究領域 生殖・内分泌系発達機構研究部門	助教	ストレスによる代謝応答を司る神経回路の解明
松井 健	島根大学 医学部 神経・筋肉生理学	特任講師	ヒト脳オルガノイドを用いた Mowat-Wilson 症候群の病態解明
緑川 光春	東京女子医科大学 医学部 生理学（神経生理学分野）	講師	中枢神経シナプス前終末における開口放出機構の発達・経験依存的変化

計 4 件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
河部 剛史	東北大学 大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野	准教授	新規の T 細胞サブセット「MP 細胞」による感染防御機構
西村 光広	神戸大学 大学院医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学分野	助教	ヒトヘルペスウイルス 6B の感染に必須である糖タンパク質複合体の構造解析

計 2 件



<基礎>

氏名	所属機関	職位	研究題目
有馬 勇一郎	熊本大学 大学院生命科学研究部 循環器内科学	助教	ケトン体合成に注目したミトコンドリア保護作用の分子メカニズム解明
井上 剛	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 内臓機能生理学	教授	自律神経によって制御される新たな抗炎症・臓器保護機構の解明
今崎 剛	神戸大学 大学院医学研究科 生理学細胞生物学講座 生体構造解剖学分野	特命助教	転写メディエーター複合体 CDK モジュールのリン酸化制御機構の解明
金山 剛士	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体防御学分野	助教	敗血症における赤血球供給機構の解明
土屋 晃介	金沢大学 がん進展制御研究所 免疫炎症制御研究分野	准教授	カスパーゼ-1 による細胞死誘導の分子機序とインフラマソーム関連疾患における役割
原田 陽一郎	大阪国際がんセンター 研究所 糖鎖オンコロジー部	チームリーダー	糖代謝により制御されるがんエクソソームの分泌機構とその機能
福田 智行	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 機能制御学分野	准教授	マイトファジーによるミトコンドリア分解の機構と生理機能の解明
藤原 悠紀	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部	リサーチフェロー	核酸を標的とした新規膜透過型オートファジーの制御機構およびその病態生理的意義の解明
北條 宏徳	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 臨床医工学部門	准教授	ゲノム編集と一細胞解析を融合した機能的エンハンサー探索法の開発
細川 裕之	東海大学 医学部 基礎医学系 生体防御学	講師	発生段階特異的な Notch シグナルによる初期 T 細胞分化の制御機構の解明
山野 友義	金沢大学 医薬保健研究域 医学系免疫学	助教	胸腺における 3 型自然リンパ球の役割の解明

計 11 件

<臨床>

氏名	所属機関	職位	研究題目
田中 將太	東京大学 医学部 脳神経外科	特任講師	脊髄に発生する上衣腫の網羅的遺伝子解析と予後予測に関するバイオマーカーの同定
新堀 哲也	東北大学 大学院医学系研究科 遺伝医療学分野	准教授	先天性橈尺骨癒合症のゲノム解析と発症メカニズムの解明
光武 翼	佐賀大学 医学部 地域医療科学教育研究センター	研究員	脳卒中片麻痺患者における tDCS と FES の同時介入による新規治療法の開発
柳瀬 雄輝	広島大学 大学院医系科学研究科 治療薬効学	准教授	慢性蕁麻疹の病態における血液凝固因子・補体の役割解明とそれらを標的とする新規診断法・治療薬の探索

計 4 件

薬学系研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
稲垣 冬彦	神戸学院大学 薬学部 分子薬学部門 有機反応化学研究室	教授	神経伝達物質モノアミン類と生体内で産生される CO <sub>2</sub> の関係性解明
井貴 晋輔	京都大学 大学院薬学研究科 ケモゲノミクス・薬品有機製造学分野	准教授	新たな創薬ケミカルスペースの開拓を指向したスピロ環状ペプチドテンプレートの開発
今井 哲司	京都大学 大学院医学研究科 薬剤学	講師	新規 3 次元感覚神経オルガノイドを用いた脱髄性末梢神経障害の機序解明およびメカニズムに基づく新規治療薬の提言
内田 康雄	東北大学 大学院薬学研究科 薬物送達学分野	講師	ヒトの血液脳関門および血液クモ膜関門における新規の薬物輸送機構の解明
大畑 慎也	武蔵野大学 薬学部 分子細胞生物学研究室	講師	希少脳腫瘍発症の分子・構造基盤
鬼木 健太郎	熊本大学 大学院生命科学部 薬物治療設計学講座 薬物治療学分野	准教授	脂肪酸バランスの質に着目した臨床薬理学的研究
柏原 俊英	北里大学 薬学部 分子薬理学教室	講師	糖尿病網膜症の発症・進展における YAP シグナリングの病態生理的意義の解明
勝山 彬	北海道大学 大学院薬学研究院 創薬科学研究教育センター 有機合成医薬学部門	助教	天然物創薬を加速する天然物ライブラリーの構築
金沢 貴憲	静岡県立大学 薬学部 創剤科学分野	准教授	ナノ粒子の表面物性と Nose-to-Brain 動態の体系的理解に基づく脊髄標的核酸送達ナノ粒子の開発
河本 佑介	京都大学 大学院薬学研究科 病態情報薬学分野	助教	副作用低減を目指した高次構造化核酸医薬の開発
櫻井 遊	千葉大学 大学院薬学研究院 薬物学研究室	特任助教	血球ターゲット抗体修飾型ナノ mRNA 製剤を基盤とした in situ CAR-NK 療法の確立
佐藤 勝彦	東北医科薬科大学 薬学部・臨床分析化学教室	准教授	TDM のための医薬品その場計測システムの開発
志津 怜太	静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野	助教	上皮間葉転換に注目した肝がんの進行を抑制する医薬品の探索と治療効果の検証
篠田 夏樹	東京大学 大学院薬学系研究科 遺伝学教室	助教	カスパーゼ反応場から読み解く非細胞死性の作用と分子機構
嶋田 修之	北里大学 薬学部 医薬品化学教室	講師	有機ホウ素化合物の特性を活かした機能性生体有機分子の効率的化学合成
白川 久志	京都大学 大学院薬学研究科 生体機能解析学分野	准教授	脳微小血管の機能破綻に起因する中枢神経系疾患の病態メカニズム解析および創薬応用
薄田 健史	富山大学 和漢医薬学総合研究所 生体防御学領域 がん・免疫ユニット	助教	薬物-HLA 相互作用による腫瘍免疫原性の改善を利用した低免疫原性腫瘍に対する新規治療法の開発
関根 勇一	京都薬科大学 生命薬科学系 細胞生物学分野	講師	ゲノムワイドスクリーニングにより同定された分子群による神経再生制御機構の解明
竹本 靖	京都大学 化学研究所 ケミカルバイオロジー研究領域	助教	ラジカル感受性ペプチドの理解と応用
田中 智博	東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科 生物有機化学研究室	助教	抗 SARS-CoV-2 活性を有するアモシアキン誘導体の標的探索研究
谷岡 卓	愛知学院大学 薬学部 生体有機化学講座	助教	熱力学的に安定化された低分子量 NIR-II 色素の設計と創出、蛍光プローブへの応用

氏名	所属機関	職位	研究題目
谷本 裕樹	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 生体認識化学研究室	准教授	弱い相互作用で駆動する新クリック戦略による光ラベル化法の開発
辻 耕平	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 メディシナルケミストリー分野	助教	タンパク質-タンパク質相互作用を標的とする SARS-CoV-2 侵入阻害剤の創製研究
中津海 洋一	名古屋市立大学 薬学研究科 分子生物薬学分野	講師	mTORC1 による液-液相分離制御の解析
中村 信介	岐阜薬科大学 薬効解析学研究	講師	血管構造を備えた立体的な網膜オルガノイドの構築 ～ヒト iPS 細胞を用いた難治性眼疾患モデルの開発を目指して～
中村 照也	熊本大学 大学院先導機構/大学院薬学教育部 機能分子構造解析学分野(併任)	准教授	新規自然免疫シグナルの活性化/抑制機構の構造学的解明
南條 毅	京都大学 大学院薬学研究科 薬品分子化学教室	助教	酸化的分子変換を基盤とした特殊ペプチドの多様性志向型合成
根来 亮介	立命館大学 薬学部 分子薬物動態学研究室	助教	PITCh システムを用いた日本人特有の薬物代謝個人差を予測可能な肝細胞モデルの作製
能代 大輔	微生物化学研究会 微生物化学研究所	博士研究員	液滴選択的なオートファジーのメカニズムの解明
野村 渉	広島大学 大学院医系科学研究科(薬) 創薬標的分子科学研究室	教授	高精度一塩基置換型ゲノム編集：細胞周期依存性アンチクリスパーの応用
畠 星治	東京大学 大学院薬学系研究科 生理化学教室	特任講師	細胞分裂機構の頑健性に着目したがん創薬の基盤確立
人見 祐基	星薬科大学 薬学部 微生物学研究室	特任講師	全ゲノム DNA 解析情報とゲノム編集を活用した重症薬疹の発症メカニズム解明および個別化医療の構築
萬代 大樹	岐阜医療科学大学 薬学部薬学科 萬代研究室	准教授	生理活性化合物の標的タンパク質の同定とリガンド構造最適化による高活性分子の創製
宮地 孝明	岡山大学 自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門	研究教授	コリン作動性化学伝達の新たな作動原理の解明とその薬学的応用
向井 英史	長崎大学 生命医科学域(薬学系)・ 医薬品情報学分野	准教授	転移がん治療を目的としたデザイナー細菌による抗がん物質の現地生産
安井 典久	岡山大学 医歯薬学総合研究科(薬学系) 構造生物薬学分野	准教授	人工結合タンパク質を基盤とする新しい作用機序のミオスタチンシグナル阻害分子の創製
保嶋 智也	名古屋市立大学 医薬学総合研究院(薬学) 薬物動態制御学分野	講師	シナプス小胞膜に局在する新規モノアミノトランスポーターの同定と機能解析 ～より治療満足度の高い精神疾患治療薬の創出にむけて～
山下 泰信	大阪大学 産業科学研究所 複合分子化学研究分野	助教	深層学習を用いた新規創薬方法論の構築とその応用
山次 健三	東京大学 大学院薬学系研究科 有機合成化学教室	助教	タンパク質化学修飾技術によるプレターゲティング法の革新と alpha 線内用療法への展開
吉村 彩	北海道大学 薬学研究院 天然物化学研究室	助教	微生物の休眠遺伝子由来天然物の開拓による抗菌性化合物ライブラリーの拡張

計 40 件

薬学系研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
大宮 寛久	金沢大学 医薬保健研究域 薬学系	教授	ホウ素元素を含む生体関連分子の創製
小林 正紀	北海道大学 大学院薬学研究院 臨床薬剤学研究室	准教授	クロザピン誘発性流涎症(CIS)の発現機序の解明と新規治療法の開発
中村 由和	東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 中村研究室	准教授	上皮性維持における細胞膜リン脂質の役割解明
平井 剛	九州大学 大学院薬学研究院 薬物分子設計学	教授	複合糖質分解を追跡する分子プローブの開発
矢崎 亮	九州大学 大学院薬学研究院 環境調和創薬化学分野	助教	非天然アミノ酸の新合成戦略の開拓

計 5 件

ライフサイエンス研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
天貝 佑太	東北大学 多元物質科学研究所 生体分子構造研究分野	助教	ZIP 亜鉛輸送体による初期分泌経路の亜鉛制御とその機能解明
新田 昌輝	基礎生物学研究所 初期発生研究部門	特別訪問 研究員	失われた極性構造を再生する階層間コミュニケーションの理解
有村 奈利子	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 病態生化学研究部	リサーチ フェロー	三者間シナプスにおける神経・グリア間の互恵的相互作用の解析
市川 壮彦	金沢大学 新学術創成研究機構 ナノ生命科学研究所	特任助教	ナノ内視鏡法を用いた焦点接着斑 (FA) 形成過程の解明及び劣性多発性嚢胞腎における FA 形成異常のメカニズム解明
市之瀬 敏晴	東北大学 学際科学フロンティア研究所 新領域研究創成部	助教	TOR-4EBP を介した神経活動依存的な翻訳ダイナミクスの解明
稲葉 有香	金沢大学 新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究コア 栄養・代謝研究ユニット	准教授	肝臓グルコース応答の新規制御機構とその役割の解明
于 躍	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 細胞・生体医工学研究グループ	研究員	トリプルネガティブ乳がんの新しい治療戦略としての Wnt シグナルの光による制御
太田 茜	甲南大学 大学院自然科学研究科/理工学部 生物学科 生体調節学研究室	特別研究員	Na <sup>+</sup> チャンネル型の新規の温度受容体が温度を受容する仕組みの解明
大野 雅恵	理化学研究所 生命機能科学研究センター 細胞システム制御学研究チーム	研究員	ゲノムの構造機能相関の解明を目指した Hi-CO 法の開発
大橋 りえ	基礎生物学研究所 神経細胞生物学研究室	助教	mRNA 輸送及び局所翻訳による長期記憶形成メカニズムの解明
大洞 光司	大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 物質機能化学コース 構造有機 化学領域	准教授	低副作用の光線力学療法を指向した色素含有タンパク質集積体の開発
加藤 一希	東京大学 先端科学技術研究センター 構造生命科学分野	特任助教	抗ウイルス免疫応答におけるユビキチン化の役割と生理的意義の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
川崎 俊輔	京都大学 iPS細胞研究所 齊藤博英研究室所属 (細胞制御システム工学分野)	特定研究員	次世代 RNA 医薬を指向した生体分子応答性 mRNA の創出
KIM Eunchul	基礎生物学研究所 環境光生物学研究部門	助教	光合成集光機能の温度による調節メカニズム
齊藤 康弘	慶應義塾大学 先端生命科学研究所 メタボローム研究グループ	特任講師	細胞極性タンパク質を起点とした ER 陽性乳がん特異的代謝酵素の機能解析
佐藤 敦子	お茶の水女子大学 理学部 生物学科	助教	おじいちゃんが孫の繁栄を守る生殖細胞戦略
島田 貴士	千葉大学 大学院園芸学研究科 応用生命化学領域 分子生体機能学研究室	助教	植物の代謝機能改変により低炭水化物・高脂質化した葉の分子基盤解析
杉村 薫	東京大学 理学部 生物情報科学科 杉村研究室	准教授	細胞頂点構成因子とアクチン制御分子の協奏による細胞頂点組み換え機構の解明
千住 洋介	岡山大学 異分野基礎科学研究所	助教	脂質結合タンパク質に着目した上皮間葉移行の新規分子機構の解明
高木 圭子	京都工芸繊維大学 応用生物学系 昆虫工学教室	准教授	栄養状態を感知して、卵細胞の生死を分ける機構の解明
田畑 亮	名古屋大学 生命農学研究科 植物情報分子研究室	特任講師	化学・ゲノム科学的手法による植物の新規器官間ペプチドシグナル解明
富菜 雄介	北海道大学 電子科学研究所 (二コソイメージングセンター)	特任助教	超高速三次元イメージング技術を利用した感覚-運動の集団コーディングにおける多機能性ニューロンのシナプス統合過程の解明
中岡 秀憲	京都大学 大学院生命科学研究所 統合生命科学専攻 細胞周期学分野	助教	細胞死から紐解く生命システム論
中川 直樹	国立遺伝学研究所 遺伝形質研究系 神経回路構築研究室	助教	大脳皮質神経細胞の樹状突起精緻化を駆動する細胞内メカニズム
中澤 直高	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点	特定助教	脳組織における狭小な空間のニューロン遊走を駆動する分子機構の解明
長島 駿	東京薬科大学 生命科学部 分子生化学研究室	助教	褐色脂肪細胞におけるミトコンドリア融合因子の役割の解明
夏目 豊彰	国立遺伝学研究所 遺伝メカニズム研究系 分子細胞工学研究室	助教	染色体制御因子 SMC5/6 複合体によるウイルス増殖の抑制機構
楳本 悟史	北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門	助教	オーキシンと PIN は如何にして植物の体の形を決めるようになったのか：ゼニゴケを用いた進化発生生物学的解析
丹羽 伸介	東北大学 学際科学フロンティア研究所	准教授	遺伝性神経疾患における逆行性軸索輸送モーターダイニンの機能亢進
橋本 浩介	大阪大学 蛋白質研究所 計算生物学研究室	准教授	超長寿者で顕在化する CD4 キラー T 細胞のサイトカイン発現メカニズムの解明
羽鳥 恵	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所	特任准教授	光を感じる G タンパク質共役受容体を化合物によって機能調節する
福島 穂高	東京農業大学 生命科学部 バイオサイエンス学科 動物分子生物学研究室	助教	嫌悪体験の記憶を制御する記憶プロセス群の分子基盤の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
藤井 渉	東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用遺伝学研究室	助教	論理ゲートを用いた指向性分子進化法によるタンパク質分解ツールの高機能化の試み
松本 俊介	九州大学 農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座 生物化学分野	助教	タンパク質の細胞内配送の校正に関わる新規因子の探索と機構解明
的場 一晃	微生物化学研究会 微生物化学研究所 構造生物学研究部	研究員	オートファジー関連膜の脂質輸送機構の解明
宮本 潤基	東京農工大学 大学院農学研究院 応用生命化学専攻 食品機能学研究室	テニュア トラック 准教授	母体栄養環境変化が仔のエネルギー代謝調節に及ぼす影響
三好 知一郎	京都大学 生命科学研究科	准教授	宿主によるヒト LINE-1 レトロトランスポソンの制御機構の解析
牟 安峰	京都大学 大学院生命科学研究科 附属放射線生物研究センター 高次生命科学専攻 ゲノム生物学 講座 ゲノム損傷応答学分野	教務補佐員	骨髄不全症モデル iPS 細胞におけるアルデヒド代謝酵素ユニット ADH5/ALDH2 に着目した病態・治療法検討
村岡 貴博	東京農工大学 大学院工学研究院 工学部応用化学科	教授	核酸の光輸送分子技術の開発
室井 喜景	帯広畜産大学 獣医学研究部門 薬理学研究室	准教授	産後雌マウス特有のストレス対処機構に基づく新規産後うつ治療薬の開発
山方 恒宏	東北大学 大学院生命科学研究科 脳生命統御科学専攻 神経行動分野	准教授	ドーパミン神経終末における匂い表象のシナプスメカニズム
若菜 裕一	東京薬科大学 生命科学部 分子細胞生物学研究室	助教	オルガネラコンタクトによる構成性分泌制御

計 42 件

### ライフサイエンス研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
大澤 志津江	名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 遺伝学グループ	教授	細胞集団挙動を介した発生時間軸制御の遺伝的基盤
齋尾 智英	徳島大学 先端酵素学研究所 分子生命科学分野	教授	Low-complexity 配列制御に着目した神経難病発症機構の解明
丸山 健太	自然科学研究機構 生理学研究所 細胞生理研究部門	特別協力 研究員	核酸-メカノセンサー axis による腸骨連関係生体恒常性維持機構の解明と応用
三木 崇史	同志社大学 研究開発推進機構 (脳科学研究科 分子細胞脳科学分野)	准教授	微小シナプスにおけるシナプス小胞の高速動員機構の可視化

計 4 件

特定研究助成

機 関 名	代 表 者	部 科 ・ 職 位	研 究 題 目
愛知県がんセンター研究所	青木 正博	がん病態生理学分野 分野長	大腸がんの転移・治療抵抗性における腫瘍微小環境の役割の解明
大阪大学	永井 健治	産業科学研究所 教授	超次元ライファイミングとデータビリティ技術の融合による統合生命機能研究
大阪府立大学	藤井 郁雄	理学系研究科 教授	ポスト抗体医薬：細胞内送達を可能にする分子標的HLH ペプチド（中分子医薬）を基盤とした新しい創薬モダリティの確立
慶應義塾大学	金井 隆典	医学部 内科学（消化器）教室 教授	腸脳相関を繋ぐ自律神経に関する研究
神戸医療産業都市推進機構	星 美奈子	神経変性疾患研究部 部長	アミロイド beta 凝集体細胞内スワイプ療法の開発
滋賀医科大学	西 英一郎	薬理学講座 教授	エネルギー代謝におけるミニ絶食効果の検討 - 理想的な食のセルフマネジメント法確立を目指して -
東京都医学総合研究所	川路 英哉	ゲノム医学研究センター 副センター長	大脳皮質形成時の神経細胞移動を支えるゲノム機能・構造的基盤の解明
奈良県立医科大学	森 英一朗	医学部 未来基礎医学 准教授	生物学的相分離から明らかにする神経疾患の分子病態
日本医科大学	大石 由美子	生化学・分子生物学（代謝・栄養学） 教授	間質の細胞多様性に基づく疾患の統合的理解
微生物化学研究会	野田 展生	微生物化学研究所 構造生物学研究部 部長	液-液相分離が関与する生命現象の解析技術の開発とその応用
広島大学	齋藤 敦	大学院 医系科学研究科 分子細胞情報学 准教授	核膜障害を起源とする細胞・個体老化の分子機構解明と治療戦略の基盤構築
福島県立医科大学	小林 和人	医学部附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門 教授	新規化学遺伝学技術による標的神経細胞の活性化と脳機能回復への応用
星薬科大学	大竹 史明	先端生命科学研究所 特任准教授	ユビキチンコードと新規分解誘導因子に基づく疾患タンパク質分解原理の解明
和歌山県立医科大学	改正 恒康	先端医学研究所 生体調節機構研究部 教授	獲得免疫の活性化を伴う自己炎症性疾患病態の解明

計 14 件

ビジョナリーリサーチ助成（スタート）

氏名	所属機関	職位	研究題目
青戸 一司	浜松医科大学 医学科 医化学教室	助教	ゲノム編集法を用いたてんかん性脳症モデルマウスに対する遺伝子治療の基礎実験
五十嵐 正樹	東京大学 大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科	助教	栄養シグナルと代謝物に着目した幹細胞ニッチ機能制御機構の解明
上田 宏生	東京大学 先端科学技術研究センター 生命データサイエンス分野	講師	ナノポアシーケンサとクラウドコンピューティングを用いた RNA 修飾の網羅的検出法の開発
Wong Richard	金沢大学 ナノ生命科学研究所	教授	新型コロナウイルスのタンパク質のナノ立体構造変換反応と構造創薬への開発
小川 渉	神戸大学 大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学	教授	運動効果模倣薬開発を目指した不働化固有の病理機構の解析
奥西 勝秀	群馬大学 生体調節研究所 遺伝生化学分野	准教授	抗原特異的 Th2 応答の分化誘導を制御する新奇分子基盤の解明
加藤 浩貴	東北大学病院 血液内科	助教	がん微小環境の栄養に着目した急性骨髄性白血病再発の克服
川根 公樹	京都産業大学 総合生命科学部 細胞社会学研究室	准教授	上皮、内皮のバリア破綻による疾患を社会的細胞死の視点から理解する
菅田 浩司	京都大学 大学院生命科学部 システム機能学分野	准教授	多細胞生命システムの自律性を生み出す細胞の競合的なコミュニケーションの解析
岸 憲幸	理化学研究所 脳神経科学研究センター・ マーマセット神経構造研究チーム	研究員	神経発達障害レット症候群の根本的治療に向けた戦略的研究
黒羽 一誠	横浜市立大学 医学部 組織学	助教	精子幹細胞の運命決定に関わる H3K9 メチル基転移酵素の時期特異的発現を規定する翻訳制御機構の解析
坂田 麻実子 (柳元)	筑波大学 医学医療系 血液内科	准教授	悪性リンパ腫の「自然消退」を促す治療戦略の提案
佐藤 恵太	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 細胞組織学分野	助教	光駆動Gタンパク質共役型受容体を基盤とした生命現象の光操作
志甫谷 渉	東京大学 理学系研究科 生物科学専攻 構造生命科学講座 瀧木研究室	助教	構造に指南された、がんの克服を目指したリソリン脂質受容体作動薬の創出
島津 忠広	理化学研究所 開拓研究本部 真貝細胞記憶研究室	専任研究員	タンパク質ヒスチジン残基におこる pi メチル化修飾の生命機能の解明
白川 公亮	順天堂大学 大学院医学研究科 循環器内科	学術振興会 特別研究員	近位尿管上皮細胞代謝リプログラミングを標的とした心腎連関の病態解明
高田 健介	北海道大学 大学院獣医学研究院 動物分子医学教室	准教授	核内受容体を標的とした細胞性免疫記憶の強化に基づく新規ワクチン戦略
滝澤 仁	熊本大学 国際先端医学研究機構	特別招聘 教授	造血幹細胞と骨髄の成熟ダイナミクス
田中 都	名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野	講師	加齢に伴う“皮膚粗鬆症”の分子機構解明
谷口 浩二	慶應義塾大学 医学部 微生物学 免疫学	准教授	新規オートクラインシグナル伝達経路を標的としたがん治療法の研究
樽野 陽幸	京都府立医科大学 大学院医学研究科 細胞生理学	教授	化学受容器“味蕾”の機能と分化のランドスケープの解明
築山 忠維	北海道大学 大学院医学研究院 生化学分野 医化学教室	助教	Wnt 受容体の発現調節破綻による発がん機構の解明をがん治療に応用するための基礎的研究



氏名	所属機関	職位	研究題目
坪井 真代	東京大学 医学部附属病院 消化器内科	特任臨床医	胃癌を誘発する「第二のピロリ菌」同定と標的治療応用
服部 一輝	東京大学 先端科学技術研究センター ロボティクス生命光学分野	特任助教	純粋な褐色/ベージュ脂肪前駆細胞を駆使した、肥満症の克服
廣野 誠子	和歌山県立医科大学 外科学 第2講座	講師	網羅的 circulating cell-free tumor DNA 変異解析のモニタリングによる肝癌個別化治療の開発
細谷 誠	慶應義塾大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室	助教	ヒト iPS 細胞由来内耳細胞とモデル動物コモンマーモセットを組み合わせた霊長類モデルによる遺伝性難聴治療薬開発
増田 明	同志社大学 研究開発推進機構(脳科学研究科 認知行動神経機構部門)	助教	クローズドループ型脳光刺激による人工視覚技術の開発
増田 隆博	九州大学 大学院薬学研究院 薬理学分野	助教	脳内マクロファージサブタイプの機能分離解析に基づく中枢神経系疾患発症メカニズムの理解と新規治療法の創出
松崎 潤太郎	慶應義塾大学 薬学部 薬物治療学講座	准教授	血中マイクロ RNA をコンパニオン指標とした新規テーラーメイドがん治療の創出
宮本 大祐	富山大学 学術研究部医学系 睡眠脳ダイナミクス研究室	准教授	睡眠脳ネットワークの多階層構造
宮脇 慎吾	岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科	助教 (テニユアトラック)	ゲノム編集マウスによる動物種を超えたフェノタイプの再現—犬種の形態的・病的特徴の再現—
茂木 文夫	北海道大学 遺伝子病制御研究所	教授	細胞極性を司る「力学刺激—化学反応」相互作用を理解して人為的に操作する
若月 修二	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第五部	研究室長	中枢神経系シナプスの形成制御におけるリボ核蛋白質複合体ウォールの機能解析

計 33 件

### ビジョナリーリサーチ継続助成 (ホップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
縣 保年	滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 分子生理化学部門	教授	iPS 細胞とゲノム編集を用いたネオアンチゲン特異的なキラーT 細胞の再生
石谷 太	大阪大学 微生物病研究所 生体統御分野	教授	超短命魚ターコイズキリフィッシュを用いた個体老化機構の解明と、それを基盤とした健康寿命延伸技術の開発
大谷 直子	大阪市立大学 大学院医学研究科 病態生理学	教授	腸内細菌によるがんの予防・治療補助法の開発
久堀 智子	岐阜大学 医学部 医学系研究科 病原体制御学分野	准教授	細菌の感染戦略が切り拓く新規ユビキチン制御機構の解明
平間 崇	東北大学病院 呼吸器外科	特任助手	肺移植後の抗体関連拒絶反応
保仙 直毅	大阪大学 大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学	教授	固形がんに対する CAR T 細胞の開発
本城 咲季子	筑波大学 国際統合睡眠医学科学研究機構	助教	マウスにおける長期断眠実験系の確立
水口 剛	横浜市立大学 医学部 遺伝学教室	講師	ロングリードシーケンサーを用いた疾患ゲノム解析法の確立
向井 淳	筑波大学 プレジジョン・メディスン開発 研究センター 神経・免疫疾患分野	教授	精神疾患におけるヒストンメチレーションの役割の解明と新しい治療薬・治療法の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
森脇 健太	東邦大学 医学部 生化学講座 生化学分野	准教授	ネクロプトーシスの分子機構の解明から炎症性疾患の治療へ向けて

計 10 件

### ビジョナリーリサーチ継続助成 (ステップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
有馬 隆博	東北大学 大学院医学系研究科 情報遺伝学分野	教授	胎盤幹細胞を用いた再生医療への応用
掛川 渉	慶應義塾大学 医学部 生理学教室	准教授	記憶を担う新しい GPCR 活性化機構
洲崎 悦生	東京大学 大学院医学系研究科 システムズ薬理学教室	准教授	神経回路のグローバルな状態及びダイナミクス同定手法の開発
鈴木 淳史	九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野	教授	消化器系器官におけるダイレクトリプログラミング研究
豊島 文子	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 生命システム研究部門 組織恒常性システム分野	教授	妊娠における幹細胞の増殖・分化応答機構

計 5 件

### ビジョナリーリサーチ継続助成 (ジャンプ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
岡田 随象	大阪大学 大学院医学系研究科 遺伝統計学	教授	疾患感受性遺伝子を用いたゲノム創薬手法の開発

計 1 件

中学校・高等学校理科教育振興助成

<中学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
朝川 真行	岡山中学校・岡山高等学校	教諭	河川の堤防決壊直後に堤防を塞ぎ被害を最小限にする プリベントロボットを作製する
池永 明史	清風中学校・高等学校	教諭	水環境の新たな改善方法 ～アオコの抑制とヘドロの再利用方法～
石原 修一	駒場東邦中学校・高等学校	教諭	生物部による駒場の生物多様性プロジェクト
岩崎 利勝	高岡市立中田中学校	教諭	オンライン授業等で、生徒の興味・関心を低下させない 実験・観察授業の工夫
大貫 啓太	茨城県日立第一高等学校 附属中学校	教諭	3Dプリンターを使ったソレノイドエンジンの制作を 通して、電磁気学を学習する授業の研究
小松 一磨	鶴岡市立鶴岡第四中学校	教諭	新学習指導要領における、3年間継続した「力」の単 元の授業づくり ～面に働く力（圧力、水圧、浮力）に重点を置いた実 践～
島田 恵佑	茨城県稲敷市立新利根中学校	教諭	スマートフォンを使って、科学技術の進歩を実感する 「電流とその利用」の授業づくり
鈴木 崇司	星陵中学校	教諭	芝川ノリの生態解明と養殖システムの開発
相馬 恵子	弘前市立相馬中学校	教諭	地学分野の学習における防災教育のための地域の地形 の教材化 ～岩木山と相馬地区の地形の特徴を生かして～
坪田 智行	岡山大学教育学部附属中学校	教諭	探究の過程で新たな課題につながる疑問をもつ授業展 開と単元構成 ～自然の事物・現象の中に疑問をもち、課題を解決す る資質・能力の育成を目指して～
中込 泰規	逗子市立沼間中学校	教諭	異なる領域や内容を関連付けて科学的概念を構築する 授業デザインの開発
西川 洋史	ドルトン東京学園中等部・高等 部	教諭	柴犬由来動物培養細胞実験の中学生向けアレンジと探 究活動への展開
林 拓実	浦和実業学園中学・高等学校	常勤講師	自然界における歩行虫の役割
林 達也	石垣市立崎枝中学校	教諭	八重山諸島近郊に生息する海洋生物の教材化 ～自然環境の保全意識の向上に向けて～
久下 誠二	高川学園中学校	理科教諭、 理科主任	オオサンショウウオの生息する里川の再生をめざした 探求学習
福永 義行	岡山県立岡山操山中学校	教諭	データサイエンスを主体的に学ぶ集団の育成 ～身近な社会問題を数学・統計学的視点で考察するこ とを通して～
古市 博之	犬山市副教本作成委員会 (犬山市立桑田小学校)	委員 (教 頭)	愛知ネットワークを活用したICT教材の開発 ～博物館所蔵が所蔵する化石標本の3D データ化を通 して～
松田 健一	宮崎市立樋中学校	教諭	理科授業におけるペア学習形態の学習評価と学習効果 －記録タイマーを使った「物体の運動」の学習－
森 早苗	堺市立福泉南中学校	教諭	泉北丘陵のマミズクラゲ (Craspedacusta sowerbyi) －分布調査と生態観察による分布拡大予測－
渡邊 啓吾	千葉市立さつきが丘中学校	教諭	論理的な思考に基づく意思決定能力の向上を目指した STS プログラムの開発

計 20 件

<高等学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
浅倉 努	世田谷学園中学校高等学校	教諭	未利用資源東京湾赤潮珪藻の有効活用を題材とした探究教材の開発
飯田 和也	駒場東邦中学高等学校	地学科教諭	野外における地学的な知識の活用能力を育成する教材の開発と評価
磯野 巖	東京都立五日市高等学校	主任教諭	自生オニグルミの持続可能な活用の研究
井上 尚明	八女学院高等学校	教諭	地球温暖化に対応した山間部での高低差を利用した水力発電の取り組みと応用
井上 満	愛知県立岡崎工科高等学校	教諭	マスクに由来する有害物質に関する研究
井上 みどり	日本大学習志野高等学校	教諭	発酵食品を使った高校化学の知識を活用した分析実験－科目横断型の実験教材の開発－
岩井 秀人	私立逗子開成中学校・高等学校	理科教諭	卸し金炉による鉄のリサイクル, および製鉄の起源を探る
岩井 祐一	東京学芸大学附属特別支援学校	教諭	知的障害特別支援学校高等部における理科授業パッケージの開発
遠藤 金吾	秋田県立秋田高等学校	教諭	緑茶成分物質による抗生物質の抗菌効果の増強
大内 亮	京都府立木津高等学校	教諭	「人と環境が共生するまち 木津川市」の実現に向けて
大川 翔平	静岡県立沼津商業高等学校	教諭	化学教育におけるSDGsの視点に基づいたプロジェクト型学習用教材「みかんバイオマスエネルギー」の開発
大橋 由佳	茨城キリスト教学園高等学校	教諭	秘めたる汚水の可能性 未来資源への活路を見出す～ウレアーゼと硝化菌を用いて汚水中の尿素を有機肥料へ変換する～
尾崎 幸仁	大阪府立園芸高等学校	教諭	花粉荷の香気成分分析によるミツバチが好む香りの特定と利用 －ミツバチ嗜好香気成分の代用花粉への添加研究－
小田 朋宏	大阪教育大学附属高校池田校舎	教諭	「探究の過程」を重視した実験授業の実践（運動と力分野）
神尾 祐輔	白陵中学校・高等学校	教諭	日本近海に生息するカマス属魚類に寄生する単生類の分類学的研究
沓脱 侑記	広島大学附属中・高等学校	教諭	汎用型データロガーを利用した、生徒たちが自ら考え課題解決に取り組む化学分野の定量的分析教材の開発と実践
小坂 那緒子	桜美林高等学校	非常勤講師	探究的に深く学ぶ高等学校生物の授業改革 －米国STEM教育と日本の理科教育の長所を活かした改革－
小菅 京	東京工業大学附属科学技術高等学校	実習助手	STEMからのステップアップ：電装自作からデータ解析までの教育プログラム「Open the Next Black Box」
小林 祐輝	静岡県立藤枝北高等学校	教諭	自作風洞を用いた揚力の研究 ～翼面の上部と下部の流速を測定することによる揚力の発生機構の検討～
小溝 克己	鹿児島県立国分高等学校	教諭	オキナワカブトを守れ！ ～ヤマトカブトとオキナワカブトの亜種間雑種に関する研究～
西城 光洋	仙台市教育局学校教育部高校教育課	主幹	立体ルートマップを用いたバーチャル地層観察による探究型授業の開発
佐賀 達矢	岐阜県立多治見高等学校	教諭	スズメバチの未知の餌生物種を明らかにする高校生物の実験
境 久雄	長野県上伊那農業高等学校	教諭	有害獣として駆除された鹿の教材化 ～鹿肉で地域の新たな特産品を作る～
坂井 良	尾道中学校・高等学校	主幹	尾道市向島沿岸部における干潟底生生物の調査および、尾道産アサリ復活のための母貝場形成の研究

氏名	所属機関	職位	研究題目
志賀 優	神奈川県立永谷高等学校	教諭	「ペニシリンの抽出実験」を通じてアロモンとしてのペニシリンの意義に焦点化したストーリー性活用型生物授業の開発
柴田 大毅	青森県立弘前中央高等学校	教諭	リンゴの褐変過程におけるビタミン C 量の減少の抑制と測定法の検討
東海林 拓郎	秋田県立能代高等学校	教諭	根箱を活用した「生物」教材の開発
杉山 久美子	愛知県立大府東高等学校	教諭	学校敷地内に生息するホタルミズから学ぶ生物多様性
鈴木 崇広	大妻嵐山中学校・高等学校	常勤講師	安全性が高く二次電池となる本質を確認できる鉛蓄電池の実験教材開発
高橋 信幸	京都府立桃山高等学校	教諭	中学生・高校生が木材地産地消のメリットを科学的に理解できる探究型学習教材の実践的開発
谷脇 鉄平	大阪高等学校	専任教諭	環境 DNA 分析及び PCR 法を用いた万尾川水系におけるタナゴ類の生息状況調査
田上 智之	京都明徳高等学校	教諭	物理現象の理解や探究の補助を目指した高校物理学習における ICT 活用
中村 太悟	鳳凰高等学校	教諭	有用植物による生態系を学校に作り、持続可能な食糧生産について考える
中村 亮	宮城県利府高等学校	教諭(理科)	学校内での居住・運動環境とその人体への影響 - 社会距離・運動量差による、危険予知の実効性の向上に向けて -
花房 朋	清風南海高等学校	教諭	C 言語を用いたプログラミング学習 ～自然現象の数値モデル構築を目指す～
早川 純平	奈良県立西和清陵高等学校	教諭	“墨作りの原理を活用した炭素微粒子が分散した新規材料の調製” ～連携機関と協同しながら進める科学研究実践課外活動～
本藤 聡仁	京都府立西舞鶴高等学校	教諭	地衣類を用いた探究プログラムの開発
松浦 紀之	奈良女子大学附属中等教育学校	教諭	生活に関連した有機化合物を題材とした化学探究活動の実践
松原 久	京都府立北稜高等学校	教諭	撮影データを用いた京都市・鞍馬山における風倒木被害の地図化と森林再生への提案
丸木 克朗	札幌日本大学高等学校	SSH 企画推進部長	今後貴重な蛋白源となる大豆を生徒が個別に栽培し、豆腐や人工肉等に加工することによって持続可能社会の創造を総合的に考える学習プログラムを開発する。
水谷 誠	清風高等学校	教諭	シロアリが日本を救う!?
宮崎 輝	長崎県立長崎北陽台高等学校	教諭	マツバクラゲの群体性ポリプに関する研究
森田 直之	東京都立科学技術高等学校	主任教諭	タンタルコンデンサの熱分解によるタンタル焼結体の回収に関する研究
両角 紀子	東海大学付属諏訪高等学校	理科主任	国蝶オオムラサキの生態解明と飼育繁殖システム確立についての研究
矢澤 敦	福島県立葵高等学校	教諭	会津メダカから見る遺伝的攪乱の研究 2 ～環境 DNA 解析による分布状況の確認～
山口 幸雄	京都府立鳥羽高等学校	教諭	マイクロスケール実験(MSE)を利用した感染症発生時に即応する有効的かつ探究的な個別実験教材の開発
山下 哲	大阪府教育センター附属高等学校	教諭	認知的な発達段階の伸長と素朴概念の解消の両立を可能とする、高校物理の AL 型授業方法の構築と実践
山田 顕	北海道札幌白石高等学校	教諭	身近な花と果実の不思議を科学する学習教材の開発 ～家庭等の身近な植物を活用した生物進化学習～
吉田 工	東京都立青山高等学校	指導教諭	ものごとの本質を捉え、学びを深化させる課題実験と学習プログラムの開発 - 酸化還元, 電池編 -

氏名	所属機関	職位	研究題目
渡邊 充司	静岡県立韮山高等学校	教諭	ポーリングコアとポーリング孔を用いた防災教育・環境教育

計 50 件

杏雨書屋研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
久保 昌紀	四国医療専門学校 鍼灸学科	専任教員	東門随筆の自筆本と写本の校勘
進藤 浩司	愛知学院大学 文学部	非常勤講師	多賀法印流医書の研究 － 『医雑集』『一格正記』を中心として－
武田 祐樹	東京大学 大学院人文社会系研究科附属 次世代人文学開発センター	特任研究員	日本医学史における林羅山の歴史的位置づけ － 『本草綱目』受容に着目して
富田 貴洋	森ノ宮医療大学 大学院保健医療学研究科 保健医療学専攻	大学院生	「五体身分」系医書の書誌研究ならびに校合翻刻
矢内 信悟	安藤昌益と千住宿の関係を調べる会		江戸後期の医学者舟山寛の基礎的研究

計 5 件

2021年度 応募件数・採択件数・採択率

プログラム名	応募件数	採択件数	採択率
武田報彰医学研究助成	31	10	32%
ハイリスク新興感染症研究	95	10	11%
生命科学研究助成	182	30	16%
医学系研究助成（がん領域・基礎）	115	44	38%
医学系研究助成（がん領域・臨床）	74	28	38%
医学系研究助成（精神・神経・脳領域）	137	53	39%
医学系研究助成（感染領域）	49	19	39%
医学系研究助成（基礎）	177	68	38%
医学系研究助成（臨床）	74	28	38%
医学系研究助成（小計）	626	240	38%
医学系研究継続助成（がん領域・基礎）	11	4	36%
医学系研究継続助成（がん領域・臨床）	13	5	38%
医学系研究継続助成（精神・神経・脳領域）	12	4	33%
医学系研究継続助成（感染領域）	7	2	29%
医学系研究継続助成（基礎）	29	11	38%
医学系研究継続助成（臨床）	10	4	40%
医学系研究継続助成（小計）	82	30	37%
薬学系研究助成	145	40	28%
薬学系研究継続助成	19	5	26%
ライフサイエンス研究助成	156	42	27%
ライフサイエンス研究継続助成	6	4	67%
特定研究助成	36	14	39%
ビジョナリーリサーチ助成（スタート）	351	33	9%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）	28	10	36%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）	8	5	63%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）	6	1	17%
中学校理科教育振興助成	31	20	65%
高等学校理科教育振興助成	78	50	64%
杏雨書屋研究助成	9	5	56%
<b>合計</b>	<b>1,889</b>	<b>549</b>	<b>29%</b>

## 2021年度来日外国人留学研究者(国別人数)

〈2022年3月31日現在〉

国 別	2021年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	3				0	3名承認、3名次年度繰越
タ イ	6				0	6名承認、6名次年度繰越
フィリピン	6				0	6名承認、6名次年度繰越
韓 国	3		1		1	4名承認、4名次年度繰越
中 国	8				0	8名承認、8名次年度繰越
インドネシア	6	3			3	5名承認、2名次年度繰越
ベトナム	3				0	3名承認、3名次年度繰越
7ヵ国 小計	35	3	1	0	4	
上記7ヵ国以外	10	4	1		5	10名承認、6名次年度繰越
総 計	45	7	2	0	9	



## 2021年度外国人留学研究者明細

2021/4/1-2022/3/31来日者

氏 名	所 属	研 究 機 関
<b>韓 国</b>		
Mikyeong Woo 2020年度	Kyoto University Hospital	京都大学医学部附属病院 小児科免疫・アレルギーグループ
小 計	1名	
<b>インドネシア</b>		
Sindhu Wisesa	Jenderal Soedirman University	神戸大学大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座膜動態学
Hilman Zulkifli Amin	Universitas Indonesia	国立循環器病研究センター病院 不整脈科
Wijaya Hendy	Univesitas Katolik Widya Mandala Surabaya	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座糖尿病・内分泌内科学
小 計	3名	
<b>そ の 他</b>		
Ylenia Capodanno イタリア	National Cancer Center	国立がん研究センター研究所 基礎腫瘍学ユニット
Yhiya Eldiasty エジプト	Kyushu University	九州大学大学院農学研究院 サステイナブル資源科学講座森林圏環境資源科学研究分野
Audrey Marie-Genevieve Ragagnin フランス	RIKEN	理化学研究所 脳神経科学研究センタータンパク質構造疾患研究チーム
Khabibullo Abdukholikovich Khasanov ウズベキスタン	Republic Clinical Hospital No. 1	名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
Md. Ahsanul Haque 2020年度 バングラデシュ	University of Asia Pacific	金沢大学医薬保健学総合研究科 メディックウォリティ セキュリティ講座
小 計	5名	
合 計	9名	

## 国別外国人留学研究者数累計

2022/3/31現在  
(来日ベース)

国別	期間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾		22	52	113	60	315	1	563	1964
タイ			7	11	121	76		215	1966
フィリピン			6	12	106	35		159	1971
韓国			4	111	19	2		136	1972
中国			32	119	113			264	1981
インドネシア			10	19	61	79	2	171	1982
ベトナム				3	22	50	1	76	1998
アフガニスタン				1				1	
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1	1				2	
イタリー			1	3	1			5	
イラン				1				1	
インド			2	22	9	1		34	
ウズベキスタン				1				1	
エジプト				13	3	1		17	
オーストラリア				2				2	
ガーナ				1				1	
カナダ				2	1			3	
ケニア				1	1			2	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スウェーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア				1				1	
ドイツ			4	4	3			11	
トルコ				2	4			6	
ナイジェリア				1	1			2	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				3	1			4	
パキスタン				3				3	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				9	8	3		20	
ブラジル				2				2	
フランス			2	5	3	1		11	
ベネズエラ				1				1	
ベラルーシ				1				1	
ペルー			1	1	2			4	
ベルギー					1			1	
マレーシア				1	1	1		3	
ミャンマー			1	1	3	3		8	
メキシコ			1					1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア			1	1			1	3	
合計		22	128	479	550	568	5	1,752	

## 医学部博士課程奨学助成者

## 2021年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
三谷 智樹	大阪大学大学院医学系研究科 システム生物学教室
安水 良明	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター
島村 司	名古屋大学大学院医学系研究科 細胞生物学分野
玉田 雄大	名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学分野
岩崎 奏子	東京大学大学院医学系研究科 細胞生物学教室
杉本 光	東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻
福田 裕太	東京大学大学院医学系研究科 統合生理学教室
武田 遥奈	東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野
春日 優介	北海道大学大学院医学研究院 微生物部門免疫学教室
麓 佳月	北海道大学大学院医学院 分子生物学教室
菱沼 秀和	九州大学大学院医学研究院 生体制御学講座系統解剖学分野
吉村公太郎	九州大学大学院医学研究院 生体制御学講座系統解剖学分野
笹田 大道	京都大学大学院医学研究科 機能微細形態学講座
横川 隆太	京都大学大学院医学研究科 機能微細形態学講座

## 2021年度 海外研究留学生

氏名	所属機関	海外研究機関・受入責任者名
生島 芳子	国立国際医療研究センター 糖尿病研究センター 分子糖尿病医学研究部	The University of Edinburgh, UK Lecturer, Dr. William Cawthorn
内原 智幸	熊本大学大学院医学教育部 消化器外科学	Duke-NUS Medical School Singapore Prof. Patrick Tan
金丸 央	熊本大学病院 総合臨床研究部	Imperial College London, UK Reader in Immunology, Dr. Masahiro Ono
川平 直史	理化学研究所 生命機能科学研究センター 発生幾何研究チーム	University of California, USA Prof. Atsushi Nakano
楠 加奈子	北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室	The University of Munich, Germany Prof. Anders Hans-Joachim
今 鉄男	長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 ゲノム機能科学研究室	University of Vienna, Austria Assistant prof. Oleg Simakov
谷岡 悟	国立病院機構 三重中央医療センター 脳神経外科	Charité University Medicine, Berlin, Germany Head, Dr. Frey Dietmar
千野 遥	東京大学大学院医学系研究科 生化学・分子生物学講座	Harvard Medical School, MA USA Assistant prof. Sichen Shao
宮内 英孝	京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科	Max-Delbrück-Center for Molecular Medicine, Berlin, Germany Prof. Dominik N. Müller
山室 禎	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝学教室	Harvard Medical School, MA USA Prof. Kajimura Shingo

## Ⅱ. 処務の概要

2022年3月31日現在

氏名		就任				再任		基本給 (月額) 単位：円	職名
		就任年月日	登記年月日	再任年月日	登記年月日				
1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 7人 9人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年			
理事 (理事長) 常勤	飯澤 祐史	2017. 6. 9	2017. 6. 22	2021. 6. 11	2021. 6. 28		807,000		
理事 (常務理事) 常勤	酒井 清彦	2021. 6. 11	2021. 6. 28	—	—		757,000		
理事 非常勤	伊藤 貞嘉	2015. 6. 12	2015. 6. 24	2021. 6. 11	2021. 6. 28		なし	公立刈田総合病院 特別管理者 東北大学 名誉教授	
理事 非常勤	近藤 孝男	2015. 6. 12	2015. 6. 24	2021. 6. 11	2021. 6. 28		なし	名古屋大学 名誉教授	
理事 非常勤	武田 直久	2016. 6. 10	2016. 6. 21	2021. 6. 11	2021. 6. 28		なし	(公財)発酵研究所 評議員 元武田薬品工業株式会社 常勤監査役	
理事 非常勤	中谷 敏	2021. 6. 11	2021. 6. 28	—	—		なし	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院 院長	
理事 非常勤	前原 喜彦	2021. 6. 11	2021. 6. 28	—	—		なし	公立学校共済組合 九州中央病院 病院長	
理事 非常勤	村上 善則	2021. 6. 11	2021. 6. 28	—	—		なし	東京大学ゲノム医科学研究機構 機構長 東京大学医科学研究所 教授	
理事 非常勤	山縣 ゆり子	2019. 6. 7	2019. 6. 21	2021. 6. 11	2021. 6. 28		なし	尚綱大学・尚綱大学短期大学部 学長 熊本大学 名誉教授	
監事 非常勤	池田 裕彦	2017. 6. 9	2017. 6. 22	2021. 6. 11	2021. 6. 28		なし	弁護士	
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6. 17	2011. 6. 30	2019. 6. 7	2019. 6. 21		なし	弁護士	

2022年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏名	就任 年月日	再任 年月日	職名
評議員	稲葉 カヨ	2018. 6. 8	—	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 監事
評議員	春日 雅人	2010. 12. 1	2018. 6. 8	(公財) 朝日生命成人病研究所 所長 国立国際医療研究センター 名誉理事長
評議員	河盛 隆造	2014. 6. 13	2018. 6. 8	順天堂大学 名誉教授
評議員	笹川 千尋	2010. 12. 1	2018. 6. 8	日本生物科学研究所 所長 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 京子	2018. 6. 8	—	株式会社 K&H 代表取締役
評議員	鍋島 陽一	2018. 6. 8	—	(公財) 神戸医療産業都市推進機構 理事 先端医療研究 センター長
評議員	名和田 新	2014. 6. 13	2018. 6. 8	九州大学 名誉教授
評議員	平野 俊夫	2018. 6. 8	—	量子科学技術研究開発機構 理事長
評議員	藤吉 好則	2018. 6. 8	—	東京医科歯科大学 高等研究院 特別栄誉教授
評議員	本庶 佑	2010. 12. 1	2018. 6. 8	京都大学高等研究院 副院長/特別教授 (公財) 神戸医療産業都市推進機構 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010. 12. 1	2018. 6. 8	神戸学院大学 名誉教授 大阪大学 名誉教授

3. 職員に関する事項			
	人数	基本給合計月額（単位：円）	備考
事務職員	7	3,330,000	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項	
〈理事会〉	
第46回定時理事会 2021年5月24日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度事業報告および財務諸表等承認の件</li> <li>・規定類等改定の件</li> <li>・定時評議員会開催の件</li> <li>・報告事項 業務の執行状況の報告の件</li> </ul>
第47回臨時理事会 2021年6月18日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事（理事長）選定の件</li> <li>・業務執行理事（常務理事）選定の件</li> <li>・武田薬品の株主総会の議案について</li> <li>・臨時評議員会開催の件</li> </ul>
第48回臨時理事会 2021年11月12日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度事業計画の件</li> <li>・選考委員選任の件</li> </ul>
第49回定時理事会 2022年3月7日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度事業計画および2022年度予算の件</li> <li>・名誉顧問推挙の件</li> <li>・臨時評議員会開催の件</li> <li>・報告事項 業務の執行状況の報告の件</li> </ul>
〈評議員会〉	
第25回定時評議員会 2021年6月11日	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事 9名選任の件</li> <li>・監事 1名選任の件</li> <li>・2020年度事業報告および決算内容報告の件</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響について</li> </ul>
第26回臨時評議員会 2021年7月15日 (みなし決議による)	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常務理事の退任慰労金加算額の件</li> </ul>
第27回臨時評議員会 2022年3月25日 (みなし報告による)	議案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度事業計画および2022年度予算の件</li> </ul>

5. 寄附金に関する事項		
寄附者	寄附の目的	寄附金額
はまや印刷他2件	公益事業目的発展のため	110,000



# 貸借対照表

(2022年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	179,546,395	173,345,174	6,201,221
前払金	23,000,000	3,000,000	20,000,000
流動資産合計	202,546,395	176,345,174	26,201,221
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	15,007,044	15,007,044	0
投資有価証券	56,213,536,500	63,720,867,500	-7,507,331,000
図書資料	2,994,656,773	2,927,633,863	67,022,910
基本財産合計	59,223,200,317	66,663,508,407	-7,440,308,090
(2) 特定資産			
助成基金	14,862,542,011	16,222,425,383	-1,359,883,372
杏雨基金	254,731,558	261,263,558	-6,532,000
資産取得資金	257,693,000	241,028,000	16,665,000
寄附者指定特定基金	4,065,569,556	3,919,786,332	145,783,224
建物	113,955,780	119,276,812	-5,321,032
特定資産合計	19,554,491,905	20,763,780,085	-1,209,288,180
(3) その他固定資産			
建物	71,862,489	81,645,707	-9,783,218
什器備品	90,171,683	106,890,209	-16,718,526
ソフトウェア	20,176,606	9,794,103	10,382,503
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	182,260,778	198,380,019	-16,119,241
固定資産合計	78,959,953,000	87,625,668,511	-8,665,715,511
資産合計	79,162,499,395	87,802,013,685	-8,639,514,290
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,182,900	12,315,585	7,867,315
未払費用	1,341,494	1,541,891	-200,397
預り金	1,943,381	2,289,730	-346,349
流動負債合計	23,467,775	16,147,206	7,320,569
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	4,531,500	9,023,300	-4,491,800
退職給付引当金	9,012,000	10,890,000	-1,878,000
固定負債合計	13,543,500	19,913,300	-6,369,800
負債合計	37,011,275	36,060,506	950,769
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	53,542,137,000	60,996,402,500	-7,454,265,500
基本財産受取配当金利息	4,460,670,979	4,253,185,877	207,485,102
指定正味財産合計	58,002,807,979	65,249,588,377	-7,246,780,398
(うち基本財産への充当額)	(53,823,666,530)	(61,210,909,120)	(-7,387,242,590)
(うち特定資産への充当額)	(4,179,141,449)	(4,038,679,257)	(140,462,192)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(5,399,533,787)	(5,452,599,287)	(-53,065,500)
(うち特定資産への充当額)	(15,375,350,456)	(16,725,100,828)	(-1,349,750,372)
正味財産合計	79,125,488,120	87,765,953,179	-8,640,465,059
負債及び正味財産合計	79,162,499,395	87,802,013,685	-8,639,514,290

# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,573,761,295	2,469,301,374	104,459,921
基本財産受取配当金	2,547,684,898	2,443,224,976	104,459,922
基本財産受取利息	26,076,397	26,076,398	-1
特定資産運用益	515,788,452	515,925,047	-136,595
特定資産受取配当金	468,964,080	468,964,080	0
特定資産受取利息	46,824,372	46,960,967	-136,595
受取寄付金	110,000	260,000	-150,000
受取寄付金	110,000	260,000	-150,000
雑収益	10,865,280	4,410,370	6,454,910
受取利息	10,855	9,403	1,452
返還助成金	10,854,425	4,400,967	6,453,458
経常収益計	3,100,525,027	2,989,896,791	110,628,236
(2) 経常費用			
事業費	3,028,405,809	2,908,708,611	119,697,198
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000	0	100,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
医学系研究助成金	570,000,000	581,000,000	-11,000,000
薬学系研究助成金	95,000,000	99,000,000	-4,000,000
ライセンス研究助成金	96,000,000	99,000,000	-3,000,000
特定研究助成金	600,000,000	600,000,000	0
ビジョナリーサーチ助成金	196,000,000	189,000,000	7,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000	21,000,000	0
杏雨書屋研究助成金	3,400,000	4,998,000	-1,598,000
外国人留学助成金	20,391,318	41,934,258	-21,542,940
医学部博士課程奨学助成	180,000,000	180,900,000	-900,000
海外研究留学助成	129,600,000	92,800,000	36,800,000
武田医学賞褒賞金	40,000,000	40,000,000	0
助成金等費用	35,597,681	34,997,681	600,000
役員報酬	11,194,960	11,194,960	0
給料手当	35,478,144	35,637,933	-159,789
役員退職慰労引当金繰入額	735,219	799,640	-64,421
退職給付費用	1,015,000	1,622,000	-607,000
福利厚生費	8,221,448	8,143,097	78,351
会議費	6,566,344	5,817,592	748,752
旅費交通費	7,010,890	9,101,374	-2,090,484
通信運搬費	6,116,780	4,999,839	1,116,941
減価償却費	35,868,409	47,851,700	-11,983,291
消耗品費	4,288,335	3,298,943	989,392
修繕費	14,608,847	53,592,011	-38,983,164
印刷製本費	45,135,010	37,547,268	7,587,742
光熱水料費	2,231,784	1,740,825	490,959
賃借料	52,856,594	52,653,974	202,620
保険料	6,824,935	5,365,883	1,459,052
諸謝金	7,979,148	4,383,437	3,595,711
委託費	36,487,687	26,633,956	9,853,731
租税公課	34,000	16,000	18,000
広報費	58,263,100	13,000,200	45,262,900
雑費	500,176	678,040	-177,864

管理費	48,298,218	54,867,180	-6,568,962
役員報酬	12,851,540	12,313,915	537,625
給料手当	12,145,279	19,658,376	-7,513,097
役員退職慰労引当金繰入額	702,781	764,360	-61,579
役員退職金	1,131,800	0	1,131,800
退職給付費用	917,000	1,175,000	-258,000
福利厚生費	5,253,437	6,808,069	-1,554,632
会議費	576,291	538,157	38,134
旅費交通費	844,174	531,809	312,365
通信運搬費	424,392	435,898	-11,506
減価償却費	372,364	487,558	-115,194
消耗品費	1,349,925	1,096,098	253,827
修繕費	0	444,950	-444,950
印刷製本費	875,877	432,507	443,370
光熱水料費	1,420,227	1,424,314	-4,087
賃借料	3,095,296	3,016,459	78,837
保険料	126,275	132,757	-6,482
会計監査報酬	2,200,000	1,650,000	550,000
委託費	3,343,668	3,315,264	28,404
租税公課	4,000	0	4,000
雑費	663,892	641,689	22,203
経常費用計	3,076,704,027	2,963,575,791	113,128,236
評価損益等調整前当期経常増減額	23,821,000	26,321,000	-2,500,000
基本財産評価損益等	-53,721,748	-23,456,746	-30,265,002
基本財産評価損益等	-53,721,748	-23,456,746	-30,265,002
特定資産評価損益等	-1,363,783,913	1,730,886,820	-3,094,670,733
特定資産評価損益等	-1,363,783,913	1,730,886,820	-3,094,670,733
評価損益等計	-1,417,505,661	1,707,430,074	-3,124,935,735
当期経常増減額	-1,393,684,661	1,733,751,074	-3,127,435,735
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	333,974	-333,974
固定資産除却損	0	333,974	-333,974
当期経常外増減額	0	-333,974	333,974
当期一般正味財産増減額	-1,393,684,661	1,733,417,100	-3,127,101,761
一般正味財産期首残高	22,516,364,802	20,782,947,702	1,733,417,100
一般正味財産期末残高	21,122,680,141	22,516,364,802	-1,393,684,661
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,755,170,000	2,755,170,000	0
基本財産受取配当金	2,755,170,000	2,755,170,000	0
特定資産運用益	39,563	102,639	-63,076
特定資産受取利息	39,563	102,639	-63,076
基本財産評価損益	-7,454,265,500	10,362,500,500	-17,816,766,000
基本財産評価損益	-7,454,265,500	10,362,500,500	-17,816,766,000
一般正味財産への振替額	-2,547,724,461	-2,443,327,615	-104,396,846
一般正味財産への振替額	-2,547,724,461	-2,443,327,615	-104,396,846
当期指定正味財産増減額	-7,246,780,398	10,674,445,524	-17,921,225,922
指定正味財産期首残高	65,249,588,377	54,575,142,853	10,674,445,524
指定正味財産期末残高	58,002,807,979	65,249,588,377	-7,246,780,398
III 正味財産期末残高	79,125,488,120	87,765,953,179	-8,640,465,059

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シボシム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	26,076,397	0	0	0	0	0	2,499,424,425	2,525,500,822	48,260,473		2,573,761,295
基本財産受取配当金							2,499,424,425	2,499,424,425	48,260,473		2,547,684,898
基本財産受取利息	26,076,397							26,076,397			26,076,397
特定資産運用益	512,977,173	0	0	0	0	2,771,664	12,725	515,761,562	26,890		515,788,452
特定資産受取配当金	468,964,080							468,964,080			468,964,080
特定資産受取利息	44,013,093						2,771,664	46,797,482	26,890		46,824,372
受取寄付金							110,000	110,000	0		110,000
受取寄付金							110,000	110,000			110,000
雑収益	10,054,425	800,000	0	0	0	0	0	10,854,425	10,855		10,865,280
受取利息								0	10,855		10,855
返還助成金	10,054,425	800,000						10,854,425			10,854,425
経常収益計	549,107,995	800,000	0	0	0	2,771,664	2,499,547,150	3,052,226,809	48,298,218		3,100,525,027
(2) 経常費用											
事業費	2,379,469,728	363,256,949	64,575,394	8,996,380	26,488,446	185,615,852	1,060	3,028,405,809			3,028,405,809
武田報彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000							100,000,000			100,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
医学系研究助成金	570,000,000							570,000,000			570,000,000
薬学系研究助成金	95,000,000							95,000,000			95,000,000
ライフサイエンス研究助成金	96,000,000							96,000,000			96,000,000
特定研究助成金	600,000,000							600,000,000			600,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	196,000,000							196,000,000			196,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000							21,000,000			21,000,000
杏雨書屋研究助成金	3,400,000							3,400,000			3,400,000
外国人留学助成金		20,391,318						20,391,318			20,391,318
医学部博士課程奨学助成		180,000,000						180,000,000			180,000,000
海外研究留学助成		129,600,000						129,600,000			129,600,000
武田医学賞奨学金			40,000,000					40,000,000			40,000,000
助成金等費用	25,900,000	1,250,000	2,650,000			5,797,681		35,597,681			35,597,681
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960			11,194,960
給料手当	11,256,457	8,528,163	1,250,717	947,574	1,349,523	12,145,710		35,478,144			35,478,144
役員退職慰労引当金繰入額	287,601	155,357	64,480	28,760	14,380	184,641		735,219			735,219
退職給付費用	405,000	49,500	45,000	5,500	51,000	459,000		1,015,000			1,015,000
福利厚生費	2,011,809	1,123,582	862,203	1,123,582		3,100,272		8,221,448			8,221,448
会議費		2,703,297	3,517,837			343,210		6,566,344			6,566,344
旅費交通費	264,797	4,872,786	1,178,990			694,317		7,010,890			7,010,890
通信運搬費	2,906,171	282,556	50,272	62,840	2,044,114	770,827		6,116,780			6,116,780
減価償却費	2,961,531	1,607,216	372,361	372,361	372,361	30,182,579		35,868,409			35,868,409
消耗品費	1,578,075	667,515	699,103	289,270	0	1,054,372		4,288,335			4,288,335
修繕費						14,608,847		14,608,847			14,608,847
印刷製本費	14,758,953	516,312	7,510,903	53,117	19,378,662	2,917,063		45,135,010			45,135,010
光熱水料費	568,091	304,334	243,467	304,334	0	811,558		2,231,784			2,231,784
賃借料	3,044,192	3,829,899	2,949,203	2,943,200	2,944,497	37,145,603		52,856,594			52,856,594
保険料	6,495	483,532	6,495	6,495	6,495	6,315,423		6,824,935			6,824,935
諸謝金	4,270,125	652,713	895,793	167,055		1,993,462		7,979,148			7,979,148
委託費	11,058,331	3,036,929	1,229,739	2,256,372	76,454	18,829,862		36,487,687			36,487,687
租税公課					32,000	2,000		34,000			34,000
広報費	12,412,900	412,500	62,700			45,375,000		58,263,100			58,263,100
雑費		423,860	4,311			70,945	1,060	500,176			500,176

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

管理費									48,298,218		48,298,218
役員報酬									12,851,540		12,851,540
給料手当									12,145,279		12,145,279
役員退職慰労引当金繰入額									702,781		702,781
役員退職金									1,131,800		1,131,800
退職給付費用									917,000		917,000
福利厚生費									5,253,437		5,253,437
会議費									576,291		576,291
旅費交通費									844,174		844,174
通信運搬費									424,392		424,392
減価償却費									372,364		372,364
消耗品費									1,349,925		1,349,925
修繕費									0		0
印刷製本費									875,877		875,877
光熱水料費									1,420,227		1,420,227
賃借料									3,095,296		3,095,296
保険料									126,275		126,275
会計監査報酬									2,200,000		2,200,000
委託費									3,343,668		3,343,668
租税公課									4,000		4,000
雑費									663,892		663,892
経常費用計	2,379,469,728	363,256,949	64,575,394	8,998,380	26,488,446	185,615,852	1,060	3,028,405,809	48,298,218		3,076,704,027
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,830,361,733	-362,456,949	-64,575,394	-8,998,380	-26,488,446	-182,844,188	2,499,546,090	23,821,000	0		23,821,000
基本財産評価損益等	-53,721,748							-53,721,748			-53,721,748
基本財産評価損益等	-53,721,748							-53,721,748			-53,721,748
特定資産評価損益等	-1,357,242,554					-6,541,359		-1,363,783,913			-1,363,783,913
特定資産評価損益等	-1,357,242,554					-6,541,359		-1,363,783,913			-1,363,783,913
評価損益等計	-1,410,964,302					-6,541,359		-1,417,505,661			-1,417,505,661
当期経常増減額	-3,241,326,035	-362,456,949	-64,575,394	-8,998,380	-26,488,446	-189,385,547	2,499,546,090	-1,393,684,661	0		-1,393,684,661
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計								0	0		0
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	0		0
固定資産除却損								0			0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	-3,241,326,035	-362,456,949	-64,575,394	-8,998,380	-26,488,446	-189,385,547	2,499,546,090	-1,393,684,661	0		-1,393,684,661
一般正味財産期首残高											22,516,364,802
一般正味財産期末残高											21,122,680,141
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
基本財産受取配当金							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
特定資産運用益							12,725	12,725	26,838		39,563
特定資産受取利息							12,725	12,725	26,838		39,563
基本財産評価損益							-6,677,500,500	-6,677,500,500	-776,765,000		-7,454,265,500
基本財産評価損益							-6,677,500,500	-6,677,500,500	-776,765,000		-7,454,265,500
一般正味財産への振替額							-2,499,437,150	-2,499,437,150	-48,287,311		-2,547,724,461
一般正味財産への振替額							-2,499,437,150	-2,499,437,150	-48,287,311		-2,547,724,461
当期指定正味財産増減額								-6,708,854,925	-537,925,473		-7,246,780,398
指定正味財産期首残高											65,249,568,377
指定正味財産期末残高											58,002,807,979
III 正味財産期末残高											79,125,488,120

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	9,023,300	1,438,000	5,929,800	0	4,531,500
退職給付引当金	10,890,000	1,470,000	3,348,000	0	9,012,000

# キャッシュ・フロー計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,780,590,149	2,780,590,150	-1
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	25,420,149	25,420,150	-1
特定資産運用収入	518,419,911	517,442,755	977,156
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	49,455,831	48,478,675	977,156
寄付金収入	110,000	260,000	-150,000
雑収入	10,865,280	4,410,370	6,454,910
利息収入	10,855	9,403	1,452
返還助成金	10,854,425	4,400,967	6,453,458
事業活動収入計	3,309,985,340	3,302,703,275	7,282,065
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,375,837,728	2,283,887,739	91,949,989
奨学助成事業支出	381,452,963	337,135,768	44,317,195
武田医学賞褒賞事業支出	64,101,472	58,937,746	5,163,726
国際シンポジウム事業支出	8,600,846	8,891,735	-290,889
本草医書発刊事業支出	26,050,405	25,927,066	123,339
本草医書公開事業支出	146,811,496	132,898,610	13,912,886
公益目的事業共通費支出	1,060	1,741	-681
管理費支出	56,656,515	52,637,200	4,019,315
事業活動支出計	3,059,512,485	2,900,317,605	159,194,880
事業活動によるキャッシュ・フロー	250,472,855	402,385,670	-151,912,815
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	1,068,907,910	3,287,046,580	-2,218,138,670
特定資産普通預金収入	500,292,500	1,607,156,500	-1,106,864,000
特定資産投資有価証券償還・売却収入	501,592,500	1,624,278,600	-1,122,686,100
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	67,022,910	55,611,480	11,411,430
投資活動収入計	1,068,907,910	3,287,046,580	-2,218,138,670
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	67,022,910	55,611,480	11,411,430
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	67,022,910	55,611,480	11,411,430
特定資産取得支出	1,231,356,134	3,574,662,284	-2,343,306,150
特定資産普通預金支出	501,592,500	1,624,278,600	-1,122,686,100
特定資産投資有価証券取得支出	500,292,500	1,607,156,500	-1,106,864,000
特定資産資産取得資金取得支出	16,665,000	25,099,000	-8,434,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	212,806,134	318,128,184	-105,322,050
固定資産取得支出	14,800,500	2,992,000	11,808,500
建物購入支出	0	1,181,400	-1,181,400
什器備品購入支出	506,000	401,500	104,500
ソフトウェア購入支出	14,294,500	1,409,100	12,885,400
投資活動支出計	1,313,179,544	3,633,265,764	-2,320,086,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	-244,271,634	-346,219,184	101,947,550
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	6,201,221	56,166,486	-49,965,265
VI 現金及び現金同等物の期首残高	173,345,174	117,178,688	56,166,486
VII 現金及び現金同等物の期末残高	179,546,395	173,345,174	6,201,221

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
 ① 其他有価証券 (時価のあるもの) 期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定) によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法  
 ① 建物 定額法によっている。  
 ② 什器備品 定額法によっている。  
 ③ ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
 ① 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。  
 ② 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
 資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理  
 税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現 金	15,007,044	0	0	15,007,044
投 資 有 価 証 券	63,720,867,500	0	7,507,331,000	56,213,536,500
図 書 資 料	2,927,633,863	67,022,910	0	2,994,656,773
小 計	66,663,508,407	67,022,910	7,507,331,000	59,223,200,317
特定資産				
助 成 基 金	16,222,425,383	0	1,359,883,372	14,862,542,011
杏 雨 基 金	261,263,558	0	6,532,000	254,731,558
資 産 取 得 資 金	241,028,000	16,665,000	0	257,693,000
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,919,786,332	212,806,134	67,022,910	4,065,569,556
建 物	119,276,812	0	5,321,032	113,955,780
小 計	20,763,780,085	229,471,134	1,438,759,314	19,554,491,905
合 計	87,427,288,492	296,494,044	8,946,090,314	78,777,692,222

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期減少額は株式の時価評価損、其他債券の時価評価損及び償却原価等である。
2. 特定資産の投資有価証券の当期減少額は株式の時価評価損、其他債券の時価評価損及び償却原価等である。



### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現 金 預 金	15,007,044	(0)	(15,007,044)	(0)
投 資 有 価 証 券	56,213,536,500	(53,542,137,000)	(2,671,399,500)	(0)
図 書 資 料	2,994,656,773	(281,529,530)	(2,713,127,243)	(0)
小 計	59,223,200,317	(53,823,666,530)	(5,399,533,787)	(0)
特定資産				
助 成 基 金	14,862,542,011	(0)	(14,862,542,011)	(0)
杏 雨 基 金	254,731,558	(0)	(254,731,558)	(0)
資 産 取 得 資 金	257,693,000	(0)	(257,693,000)	(0)
寄 附 者 指 定 特 定 基 金 物	4,065,569,556	(4,065,185,669)	(383,887)	(0)
建 物	113,955,780	(113,955,780)	(0)	(0)
小 計	19,554,491,905	(4,179,141,449)	(15,375,350,456)	(0)
合 計	78,777,692,222	(58,002,807,979)	(20,774,884,243)	(0)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物	166,165,775	52,209,995	113,955,780
その他固定資産			
建 物	179,995,183	108,132,694	71,862,489
什 器 備 品	321,098,116	230,926,433	90,171,683
ソ フ ト ウ ェ ア	71,164,737	50,988,131	20,176,606
合 計	738,423,811	442,257,253	296,166,558

### 5. 金融商品の状況

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

#### (2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

#### (3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	2,542,363,866
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	5,321,032
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	39,563
合 計	2,547,724,461

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	173,345,174	現金預金勘定	179,546,395
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	173,345,174	現金及び現金同等物	179,546,395

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
-	-

# 財 産 目 録

2022年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金預金			179,546,395
現金	手元保管	運転資金として	65,709
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	39,997,267
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	139,483,419
前払金			23,000,000
前払金	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金	3,000,000
前払金	海外研究留学生	海外研究留学助成金前払金	20,000,000
<b>流動資産合計</b>			<b>202,546,395</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			<b>59,223,200,317</b>
現金預金			15,007,044
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	15,007,044
投資有価証券			56,213,536,500
株式	(武田薬品株)15,306,500株		53,542,137,000
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	47,962,827,000
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	5,579,310,000
公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,671,399,500
その他債券	第131回利付国債(20年)		285,000,000
	第10回利付国債(30年)		108,840,000
	第11回利付国債(30年)		277,080,000
	第143回利付国債(20年)		171,345,000
	第62回利付国債(20年)		101,060,000
	第329回利付国債(10年)		252,650,000
	第327回利付国債(10年)		140,882,000
	第333回利付国債(10年)		248,062,500
	第151回利付国債(20年)		440,600,000
	第152回利付国債(20年)		110,130,000
	第155回利付国債(20年)		150,430,000
	第157回利付国債(20年)		385,320,000
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	2,994,656,773
		(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
	本草関係書類	(故)武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
	東洋学善本	(故)武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業(株) 寄贈 16,586部	339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業(株) 寄贈 589点	23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業(株) 寄贈 150点	3,700,000
	武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
	村上文書	武田家 寄贈(書状5,000通含) 909部	8,990,000
	洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
	羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
	宋版 經史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
	中葉大辞典	1999年度購入 5部	308,700
	本草図譜	1999年度購入 1部	506,520
	東洋医学書善本叢書	2000年度購入 20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入 4帙23冊	8,925,000
	黄帝内經素問詠解他	" 29冊	873,600
	医心方続編	2000年度購入 12冊	488,250
	萬金産業袋	2001年度購入 5冊	189,000
	中国本草全書	2001~2002年度購入 411冊	8,908,333
	金陵本 本草綱目	2002年度購入 7冊	236,250
	「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入 109枚	1,260,000
	BOTANICAL CABINET	" 20冊2000枚	4,725,000
	HOOKE'S EXOTIC FLORA	" 3冊233枚	892,500
	THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入 34冊	7,875,000
	鴻寶秘要抄	" 1冊	682,500
	続添鴻宝秘要抄抜書	" 1冊	262,500
	江馬榴園書状集	2003年度購入 1冊	357,710
	衍義本草	2004年度購入 21冊	9,450,000
	医方大成	" 5冊	2,100,000
	医林類証集要	" 20冊	4,200,000
	世医得効方	" 20冊	4,200,000
	植物誌が ナテ図書館蔵本ファクシミリ版	2005年度購入 1冊	1,197,000

図書資料

補遺雷公炮製便覧	"	13冊	350,000
東洋医学雑誌復刻叢書	"	8冊	257,250
常陸文庫	"	571部	74,970,000
Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
長崎西家由緒書	"	1冊	252,000
野間玄琢書状	"	1冊	170,000
奈須玄孟・玄竹書状集	"	1冊	420,000
帆足万里書状	"	1冊	252,000
権田直助書状集	"	1冊	220,000
ヘボン氏手術図以下	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	"	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	"	6冊	367,500
松本文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序聴迷詩所経	"	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓迪集	"	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	"	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	"	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	"	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香葉抄	"	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	"	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids. Nature 171:1~3. 1953 Watson JD and Crick FHC他	"	19冊	15,579,900
二宮文庫	"	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月~11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	"	1冊	360,000
ローベル：草木誌	"	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	"	1冊	282,555
ショメル：家政事典初版（フランス語）	2010年度4月~11月購入	1冊	724,500
田中彌性園文庫	"	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	"	1巻	1,260,000
配済録他	"	3冊	1,462,960
医心方提要他	"	13冊	2,276,960
	(以上、公益認定前取得)		
	(以下、公益認定後取得)		
	(公益認定後取得額合計)		952,845,450
方薬順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
lennee Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
石原保秀文庫	2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
解剖学蘭訳初版	"	1冊	6,500,000
小曾戸文庫	"	1802点	261,092,470
Ontleding des Menschelyken	"	1冊	1,995,000
外科学入門	"	1冊	367,500
トーマス・バルトリン「解剖学」	"	1冊	262,500
師弟問答	"	1冊	4,500,000
曲直瀬道三書状	"	1冊	650,000
合業直伝集	"	1冊	350,000
岡本玄治書状	"	1部	157,500
方肥剂	"	1冊	340,980
古医書写本	"	9冊	560,980
医学正伝	"	8冊	945,980
證類本草序列	"	1冊	2,250,000
ヨック：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
ワトキン：リンネの体系にもとづく自然誌	"	37冊	2,100,000
ワットネット：自然の教理問答	"	4冊	81,900
ワスター：科学の楽しみ	"	1冊	441,000
シュアレンベルグ：植物学入門	"	3冊	126,000
ジャキン：植物学入門	"	1冊	79,800
デノス：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	"	1冊	56,133
楢林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峽山像	"	4幅対	100,000
浅田栗園先生母堂栗園宛宛消息	"	4通	85,000
鈴木松塘・菜蘭 浅田栗園宛書簡他	"	26通	250,000
長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	"	10通	200,000
名家書簡	"	46通54紙	2,625,000
ワットネット：哲学教師または現代実験自然学概説	"	1冊	94,500
医学正伝	"	8冊	7,500,000
奥田・藤平文庫	"	668点	13,760,460
古文孝経	"	1巻	12,055,970
神農皇帝真伝灸図	"	1冊	285,990
校正本 救荒本草・救荒野譜	"	3冊	395,990
草之名集 秋之部	"	1冊	175,990
新刊 大観本草	"	20冊	1,759,990
日本植物図譜	"	1冊	1,088,990
察病指南	"	1冊	285,990
意伝普教録	"	1冊	285,990

図書資料

節齋漫録	"	3冊	2,210,990
大成論抄	"	1冊	340,990
禽獸魚介蟲図譜	"	4冊	1,759,990
医家本草家書状	"	1巻	420,000
大塚修琴堂文庫	"	2985点	139,987,890
中西深齋 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草	"	2冊	9,000,000
素問入式運氣論奥	"	1冊	3,500,000
重修政和經史證類備用本草(卷十五~十七)	"	1冊	252,000
吉雄幸作・俊蔵書簡	"	1巻	420,000
江馬春齡・蘭齋書簡	"	1巻	330,000
ターヘル・アナトミア	"	1冊	290,200
日本医史学会文庫	"	38点	7,980,500
大阪華岡塾合水堂文庫	"	319点	42,765,760
レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
刈谷藩士本草学者穴戸昌 自筆文書	"	12冊	525,000
伊藤(圭介・延吉・篤太郎)家伝来文書	"	9幅	5,450,000
射野山親花書画	"	1巻	270,000
蘭腕摘芳草稿	"	1冊	1,700,000
大阪華岡塾合水堂文庫	"	12点	20,422,500
本間玄調肖像	"	1幅	315,000
ニerland「ネーデルラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
クルムス「ターヘル・アナトミア」	"	1冊	3,078,000
難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	"	21冊	367,500
二十八宿三微垣並星象畧図	"	1冊	84,000
家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	"	7冊	148,500
解体新書	"	5冊	4,000,000
古文孝経	"	1冊	8,500,000
玉機微義	"	12冊	6,500,000
杉立文庫	"	26点	5,990,560
古訓医伝薬能方法辨	"	5冊	36,750
傷寒論国字辨	"	1冊	31,500
傷寒論辨正	"	1冊	15,750
傷寒外伝	"	1冊	42,000
五書別體	"	1冊	63,000
傷寒論識	"	6冊	15,750
傷寒論特解	"	1冊	73,500
家刻傷寒論	"	1冊	63,000
傷寒貫珠集	"	1冊	73,500
喻嘉言先生傷寒尚論篇全書	"	1冊	63,000
金匱正辨	"	1冊	10,500
傷寒論劉氏伝	"	1冊	15,750
傷寒論轍義	"	1冊	94,500
傷寒論大意	"	1冊	31,500
キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica.」	"	1冊	997,207
温知堂文庫	"	619点	19,440,000
解体新書	"	5冊	3,591,000
経史證類大観本草	"	25冊	1,200,000
本間玄調松延定雄(松延年)往復書簡・青山延光本	2016年度購入	2巻	210,000
千魚一観録	"	1冊	31,500
小曾戸文庫	"	632点	80,935,050
スメリー「産科学解剖図録」	"	1冊	1,404,000
時選読我書捷見	"	1冊	270,000
参製口訣稿本 二種	"	2冊	270,000
宋本素問版心文字録	"	1冊	162,000
遊仙窟	"	1冊	270,000
劉向新序 十巻	"	2冊	432,000
素女妙論	"	1冊	64,800
素女妙論	"	1冊	37,800
黄素之妙論	"	1冊	129,600
黄素妙論	"	1冊	129,600
釋糸付釋麻	"	1冊	210,000
東大寺古文書	"	1幅	105,000
多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000
医心方	"	30冊	3,240,000
三医聖画像(三幅対)	"	3幅	54,000
黄帝秘要良方	"	1冊	270,000
扁鵲倉公列伝割解	"	1冊	162,000
傷寒論述義	"	1冊	378,000
業雅	"	1冊	194,400
新刊京本活人心法	"	1冊	486,000
増修無冤録大全	"	1冊	216,000
医学院学範 第一編三巻	"	3冊	31,500
温疫論	"	2冊	8,400
温疫論私評	"	2冊	36,750
華氏解剖摘要九巻	"	2冊	42,000
金鷄医談	"	1冊	31,500
種痘傳習録	"	1冊	31,500

図書資料

内科新説	"	3冊	6,300
博物新編 三刻	"	3冊	5,250
京都典業寮医師大野家旧蔵資料	"	一括	840,000
杉田玄白肖像画	"	1幅	20,000
神農像	"	1幅	80,000
神農像 附肖像木版画	"	2幅	150,000
ルードヴィヒ「植物学講義」初版	"	1冊	248,400
菅一学士入余門云々	"	1軸	550,000
伊藤圭介葉書・書状	2018年度購入	一括	150,000
長井長義朝鮮視察時写真帖	"	1冊	105,000
察病指南 室町中期刊 五山版	"	1冊	10,800,000
羽田文庫	"	116点	40,503,750
察病指南	"	1冊	126,000
養生月覽	"	1冊	63,000
香川修徳書状	"	1通	30,240
富士川游書	"	1幅	108,000
列仙傳巻物(小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋 氏 寄贈	2巻	2,835,000
神農図 月櫻画	2019年度購入	1幅	48,600
三医神像	"	1幅	108,000
神農像 模同斉筆	"	1幅	84,240
張仲景像 吉益北洲画并題	"	1幅	130,600
新宮涼閣コレラ病詩	"	1幅	62,640
北山寿安医事消息	"	1幅	175,987
京都医塾有功館門人姓名録並由緒書	"	1組	153,986
月櫻画 三国志治療之図	"	1幅	175,987
ヨンケル「瑞穂草」	"	3冊	183,600
ショイベ「日本における病気の臨床所見」	"	1冊	64,800
ショイベ「日本人の脚気」	"	1冊	84,240
田代玄快肖像画幅	"	1幅	28,000
増地長喬肖像画幅	"	1幅	4,400
増地長喬肖像画幅	"	1幅	3,600
切紙下巻	"	1冊	32,000
浅田宗伯書簡	"	1通	220,000
頼松庵肖像画幅	"	1幅	20,000
スメリー「産科論」初版	"	1冊	594,000
新刊万病回春	"	5冊	1,660,983
大坂狹山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡	"	1巻	725,987
ツェンペリー「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」	"	4冊	682,000
延寿帯効用略記	"	1冊	8,900
矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品	"	37点	9,555,000
結髦居別集序	"	1巻	220,000
神農像掛軸(小曾戸文庫追加)	小曾戸 洋 氏 寄贈	4幅	698,250
各務小木骨	2020年度購入	一括	7,700,000
カウパー「人体解剖図説」ラテン語初版 1739年	"	1冊	1,650,000
ライデン刊	"	1冊	88,000
椿庭隨筆	"	1冊	715,000
古方類按	"	3冊	220,000
学晦堂医話	"	2冊	495,000
瘍科広要 卷之一	"	1冊	275,000
内科開微私評	"	1冊	385,000
結髦居別集 卷三・四	"	1冊	395,980
医範提綱内象銅版図	"	1巻	385,000
病草紙	"	6冊	1,430,000
オスカンプ等篇「薬用植物図譜」全6巻	"	9幅1冊	4,614,750
蘭訳版初版 1796-1800年	"	54点	37,059,750
丸亀尾池家医学関係資料	"	1冊	198,000
矢数文庫	2021年度購入	1帖	495,000
敦煌莫高窟秘本一神論殘巻	"	7冊	4,630,983
貴目帖	"	2冊	230,989
仁齋直指	"	1冊	340,988
寒窓吟嘯	"	1巻	49,500,000
瓊桃集	"	1冊	935,000
黄帝内經太素	"	1冊	38,500
延寿類要	"	1幅	110,000
瀋本医説抄録	"	1幅	41,800
神農図 延寿院橋支潤画讃	"	1冊	110,000
福井棟園(晋) 遠雁余声五言律詩	"	1冊	41,800
ヨンストン「動物図説」蘭語版・初版 1660年	"	1冊	2,420,000
長野文庫	"	28点	5,281,500
読書漫録	"	3冊	450,980
多紀元堅	"	1幅	151,000
漫遊雜記 卷上	"	1冊	38,500
医嗽 欠有	"	4冊	495,000
成章堂家藏方	"	1冊	71,500
栗園日抄	"	1冊	66,000
栗園録稿并掌記 二	"	1冊	385,000
読書漫録 巳	"	1冊	220,000
ロツテルダム薬局方第3版1736年	"	1冊	242,000
浅田恭悦書簡	"	1通	13,000
森立之書簡	"	1通	84,000
ブラッハ「ベルギー薬局方の調剤帳」初版 1829年	"	1冊	242,000
和智新妻文庫医学関係書	"	一括	539,170

特定資産			19,554,491,905
助成基金			14,862,542,011
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	31,254,723
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	800,000,000
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	14,031,287,288
株式	武田薬品(株) 2,605,356株		9,113,535,288
公社債			4,917,752,000
その他債券	第11回利付国債(30年)		173,175,000
	第137回利付国債(20年)		229,580,000
	第139回利付国債(20年)		682,740,000
	第141回利付国債(20年)		230,280,000
	第148回利付国債(20年)		454,160,000
	第149回利付国債(20年)		113,680,000
	第151回利付国債(20年)		330,450,000
	第152回利付国債(20年)		220,260,000
	第155回利付国債(20年)		107,450,000
	第157回利付国債(20年)		288,990,000
	第8回東京電力パワーグリッド債		202,640,000
	第25回東京電力パワーグリッド債		204,040,000
	第39回東京電力パワーグリッド債		102,230,000
	第515回関西電力債		200,320,000
	第484回九州電力債		99,070,000
	第489回九州電力債		397,680,000
	第404回中国電力債		299,190,000
	第227回神奈川県公募債		90,207,000
	第471回大阪府公債		392,440,000
	北海道令和2年度第21回公募債		49,730,000
	広島県令和3年度第5回公募債		49,440,000
杏雨基金			254,731,558
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	1,432,558
公社債			253,299,000
その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	
資産取得資金			257,693,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	252,273,000
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	5,420,000
寄附者指定特定基金			4,065,569,556
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。	1,496,844,893
現金預金	法人会計		2,568,724,663
建物	公益目的事業会計		113,955,780
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	113,955,780
その他固定資産			182,260,778
建物			71,862,489
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	13,808,534
法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	58,053,955
什器備品			90,171,683
公益目的事業会計	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。	89,052,882
	道修町ビル1F展示室備品	"	87,328,066
	道修町ビル4F 書架	"	598,305
		"	1,126,511
法人会計			1,118,801
	サーバー1台	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	474,444
	サーバーラック	"	370,273
	武田科学振興財団DVD	"	274,084
ソフトウェア			20,176,606
公益目的事業会計	研究助成システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	11,112,817
公益目的事業会計	自動化書庫関連システム	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業のソフトウェアとして使用している。	754,601
公益目的事業会計	外国人留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	977,921
法人会計	公益法人会計システム、財団Webサイト	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	7,331,267
保証金			50,000
法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計			78,959,953,000
資産合計			79,162,499,395

(流動負債)			
	未払金		20,182,900
	未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの	監査費用未払分 給与未払分
		職員に対するもの	給与未払分
		海外研究留学助成	留学助成金・留学渡航費未払分
		杏雨書屋	空調設備保守費未払分
	未払費用		
	未払費用	常勤役員・職員に対するもの	給与・期末手当 福利厚生費未払分
	預り金		
	預り金		住民税の預り金
			給与・期末手当等 所得税 預り金
			給与・期末手当 社会保険預り金
流動負債合計			23,467,775
(固定負債)			
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの
固定負債合計			13,543,500
負債合計			37,011,275
正味財産			79,125,488,120



# 独立監査人の監査報告書

2022年 4月 20日

公益財団法人武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ  
大 阪 事 務 所

指定有限責任社員 公認会計士 高 見 勝 文  
業務執行社員

## <財務諸表等監査>

### 監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが

含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### <財産目録に対する意見>

##### 財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2022年3月31日現在の2021年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

##### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

##### 財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監 査 報 告 書

2022年5月10日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯澤 祐史 殿

監 事 夏 住 要 一 郎 ㊟

監 事 池 田 裕 彦 ㊟

私たち監事は、当財団の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

### (2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上